

賛助会員のお願い

公益財団法人パブリックリソース財団

賛助会員のお願い

賛助会員として、弊財団の組織基盤強化にご支援くださいますようお願い申し上げます。

【賛助会員制度の概要】

- ① 賛助会費の使途：賛助会費は、全額、弊財団の運営経費として活用させていただきます。
- ② お申込み単位：(個人)1口 年1万円、(法人)1口 年10万円とし、何口でも可。
- ③ 弊財団の賛助会費は、税制優遇の対象となります。
お申し込みいただいた皆様には、税務申告用に弊財団発行の領収書を郵送でお送り申し上げます。
- ④ 賛助会員の特典：
 - ・ご希望に応じ、寄付およびその他の社会貢献の方法について、個別相談の機会を活用いただけます。(2回目以降は有料となる場合があります。)
 - ・弊財団のメーリングリストに登録し、メルマガ等で最新の情報をお届けいたします。
 - ・弊財団の出版物を優待価格で購入できます。
 - ・弊財団が主催、共催する研修会、セミナー等に優待価格で参加できます。

【お申し込み方法】

オンラインの場合

弊財団のホームページからオンライン寄付サイトGive One(ギブワン)へ移り、Give Oneシステムで賛助会員のお申し込みがいただけます。

銀行振り込みの場合

1. 「賛助会員申込書」にご記入の上、以下にお送りください。
(「賛助会員申込書」は当財団ウェブサイトからダウンロードいただけます)

公益財団法人パブリックリソース財団

メール：center@public.or.jp Fax：03-5540-1030

2. 最寄りの金融機関でお振込をお願いいたします。

ジャパンネット銀行(銀行コード：0033)

はやぶさ支店(支店コード：003)

口座番号：普通預金 1872673

口座名義：公益財団法人 パブリックリソース財団寄付金口

フリガナ：ザイ)パブリックリソースザイダンキフキンクチ

公益財団法人パブリックリソース財団

〒104-0043 東京都中央区湊2丁目16-25 ライオンズマンション鉄砲洲第3 202号

【まずはお電話またはメールで
お問い合わせください】 TEL:03-5540-6256 FAX:03-5540-1030
E-mail:center@public.or.jp HP:www.public.or.jp

編集：中村 未絵
デザイン：山田 健三



Public Resources Foundation

— 2020年度事業報告書 —



公益財団法人 パブリックリソース財団

ごあいさつ

2000年1月にパブリックリソースセンターを創設し、「パブリックリソース(Public Resources)」という概念を打ち出してから20年を超えました。“意志ある寄付で社会を変える”をミッションに掲げ、寄付者の持つ社会貢献の志を実現する「あなたの財団」となって8年です。

私たちが向き合う顧客は寄付者です。寄付者の社会貢献の想いを、共感をもって傾聴し、解決すべき社会的課題を明らかにし、「オリジナル基金®」を創設して、NPOや社会的企業あるいは将来ある若者に助成金、奨学金という形で資金を届け、実現を希望される新たな社会を創造していきます。

NPOや社会的企業などは、私たちのパートナーです。パートナーの活動を通じて、寄付者の想いを実現していくのです。その活動の成果を寄付者にフィードバックするとき、寄付者には寄付を通じて自らの社会貢献を実感していただけます。

「ドナーファースト」、寄付者基点の財団として、寄付者とパートナーを結び付け、ともに新たな価値と社会を創造することが私たちの役割です。

2000年以降、新型コロナウイルスの蔓延によって、多くの人々の生命が脅かされ、さらには、経済・社会活動が制限され、暮らしの危機と苦しみに直面する人々が、私たちの想像をはるかに超えて広がっています。いまだコロナ危機の終息は見通せない状況が続いています。これまで経験したことのない経済的な困窮と生存の危機に、SDGsの達成が遠のいてしまった挫折感と不安が広がっています。

一方で、幾多の疫病や自然災害に直面したとき、人類は英知と勇気、共感と連帯によって困難を乗り越えてきた歴史があります。2020年度にパブリックリソース財団に託された寄付金は前年の4倍を超え、寄付件数は10万件に達し、寄付者層がかつてなく拡大しました。

人類の本質にある「分かち合いの精神」「人間愛を基本とした利他性」は、コロナ禍で深まった「不安」「孤立」「憎しみ」や「分断」という人類社会の危機を克服することを可能にします。

寄付者お一人おひとりの想いや志が広がる時、誰一人も希望を失わず、ともに生きられる新しい社会に近づくのだと信じています。

弊財団の8年目・2020年度の実績と、寄付者や協力者の皆様の声を取りまとめましたので、ご高覧ください。
平素のご支援、ご協力に感謝し、引き続きのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

2021年冬

公益財団法人パブリックリソース財団

代表理事 久住 剛(理事長)
代表理事 岸本幸子(専務理事)

数字で見る2020年度のパブリックリソース財団

(2021年3月31日現在)

寄付金額 **1,962,132,066円**

2013年1月に公益財団としてスタートして以来、9会計年度で累計36億4千万円を超えるご寄付をお預かりし、約19億8,400万円を助成金として提供しています。



寄付件数 **104,926件**

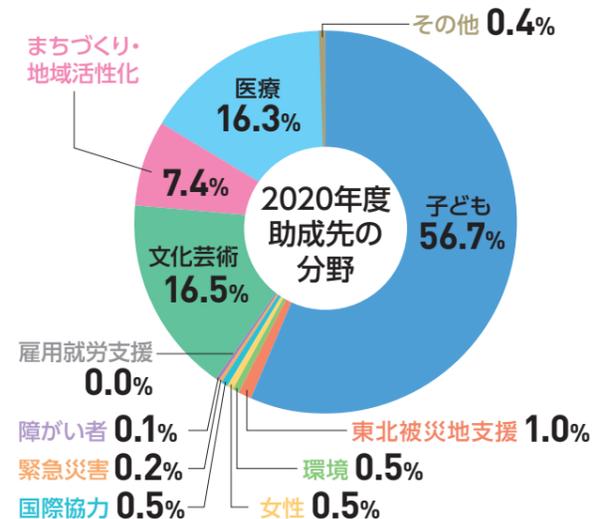
多くの方々からお志のこもったご寄付をいただきました。このうち4,881件がオンライン寄付サイトGive One(ギブワン)を通じたオンライン寄付、1,692件がオリジナル基金などの寄付、98,354件が新型コロナ緊急支援に関する寄付でした。

応募数(個人・団体) **6,397件**

全国各地よりたくさんのご応募をいただきました。このうち5,967件が新型コロナ緊急支援に関するオリジナル基金へのご応募でした。

助成金額 **1,279,848,615円**

いただいたご寄付は、個人への奨学金やNPOなどの団体への助成金として提供されました。子ども、東北被災地支援、環境や女性など幅広い分野の活動を後押ししています。



Give One認証登録団体数 **157団体**

Give Oneを通じて、パブリックリソース財団とNPOのネットワークがさらに充実しました。

助成対象団体数 **1,272団体**

Give Oneによる助成や前年度からの継続助成を含め、全国の1,272団体と助成事業を進めています。このうち1,043件が新型コロナ緊急支援に関する助成先となります。

コンサルティング件数 **4件**

パブリックリソース財団の特色のひとつが、NPOへのコンサルティングサービスです。本年度も4団体への組織診断や組織基盤強化のコンサルティングを行ない、団体の活動とさらなる成長を支援しました。

掲載メディア **新聞43紙、雑誌6冊**

テレビ5局、ラジオ6局

パブリックリソース財団の動きをメディアがキャッチし、記事として掲載いただく機会が増大しました。その他ネットニュースでも多くの記事が掲載され、財団の取り組みが広く発信されました。

設置基金数 **36基金**

多様なテーマをもった基金を続々と設立しています。今年度も14の基金を新たに設立しました。このうち、新型コロナ緊急支援に関する基金は10となります。

物品寄贈数 **115件**

AED基金を通じて、1台のAEDを寄贈しました。株主優待品を活用する優活プロジェクトを通じて、81件の物品寄贈を行いました。大和証券グループ サンタチャリティプログラムを通じて、33件の物品寄贈を行いました。

奨学生数 **50人**

地域の金融機関との協働や個人の方からのご寄付により、多くの学生を奨学生として選定しました。

パブリックリソース財団の歩み

NPOリーダーの育成	NPOマネジメント	調査研究	評価	年 主な出来事	社会的投資	寄付の推進	CSRの推進
				2000 1月 NPO法人パブリックリソースセンターとしてスタート			
		●パブリックリソースに関する基礎調査 ●ウイメンズファンドフォーラム		2001	●SRI(企業の社会的責任投資)のための企業の社会性調査を開始		
		●「パブリックリソース・ハンドブック」出版		2002		●オンライン寄付 GambaNPO.netの運営開始	
	●NPO組織診断ツールの開発	●NPOの組織基盤強化支援に関する調査研究		2003	●社債運用に関するSRIコンサルテーション		
	●組織診断・コンサルティングの開始	●キャパシティビルディングフォーラム		2004			
	●NPOマネジメント支援コンサルタント養成講座の開始			2005		●CSRインターンシップ・プログラムの運営(立教大学)	
	●NPOマネジメント基礎講座開始			2006		●世界11カ国における日本企業のCSR活動の調査	
		●米国における寄付関連金融商品の動向に関する調査研究	●企業の社会貢献活動の成果評価を開始	2007		●企業の社会貢献プログラムの支援を開始	
	●通信講座を開始			2008 12月 公益法人改革		●Give One(ギブワン)に名称を変えてリニューアル	
●社会起業家大学との協働		●「NPO実践マネジメント入門」出版		2009		●社員募金プログラム支援を開始	
●「新しい公共」支援事業における社会起業家育成事業		●サステナブル・インベストメント・フォーラム	●企業の助成プログラムの事業評価を開始	2010		●寄付つき商品の開発支援の開始	
●東日本大震災被災地における社会起業家育成事業	●(約130名が受講)	●SROIに関する調査研究		2011 3月 東日本大震災福島原発事故 6月 新寄付税制公布		●(オンライン寄付)累計1億円突破	
	●(組織診断30団体突破)	●SROIセミナーの開催(東京・大阪)	●東北の被災地支援のSROI評価	2012			
	●中間支援4団体に組織診断ノウハウを移転			2013 1月 公益財団法人化 パブリックリソース財団設立		●「アート&ヘルス基金」設置	●企業基金「未来につなぐふるさと基金」を設置
			●組織基盤強化事業のSROI評価	2014		●財団初の個人基金「井上圭子様メモリアル基金」設置 ●「ふくしま未来基金」設置 ●遺贈支援の開始	
			●中小企業経営革新のSROI評価	2015		●女性が支える女性のための「あい基金」設置	
●福島を未来を切り拓く人材育成「ふくしま志高塾」	●(組織診断40団体突破) ●福島でコンサルタント養成講座を開催	●「寄付適格性」評価手法の開発		2016	●(オンライン寄付)累計2億円突破 ●「純 子ども基金」設置 ●「いぞう寄付の窓口」加盟団体になる	●全国初信用組合による社会貢献プラットフォーム「魚沼の未来基金」設置	
		●「寄付適格性」評価の実施		2017	●「東北3.11基金」設置 ●「I.H.K基金」設置 ●「ゆーじチャレンジ基金」設置 ●ValueMakerオープン ●財団初の遺贈実行	●顕彰事業「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」開始 ●企業基金「大和証券グループ輝く未来へこども応援基金」設置 ●企業基金「ゴールドマン・サックス基金」設置	
	●東京にてコンサルタント養成講座を開催		●日本初のSROI認証の取得				

NPOリーダーの育成	NPOマネジメント	調査研究	評価	年 主な出来事	社会的投資	寄付の推進	CSRの推進
●「JWLI」日本事務局の運営開始	●(組織診断50団体突破)			2018	●第一勧業信用組合と包括連携協定	●「Women's Social Change Fund」設置 ●「財団教育基金」設置 ●「佐渡水山」基金」設置 ●プライベートバンク・スクールにてフィナンシャル・ロビーに関するセッションを実施	●株式会社パブリック不動産設立 ●ランドマーク税理士法人との連携協定 ●企業基金「MHD緊急災害支援基金」設置
●「JWLI Bootcamp」の実施(日本事務局)				2019	●簡易版「社会的インパクト可能性評価」の開発	●休眠預金等に基づく事業の開始(資金分配団体)「子ども支援団体の組織基盤強化」 ●「支援付住宅建設・人材育成事業」	●「移民・難民支援基金」設置 ●財団初の謝辞会開催 ●不動産寄付の受け入れ開始 ●財団初の運用型基金「じゅんぎ教育基金」設置 ●あい基金ギブワン・サークルの稼働 ●「ビックブリッジ基金」設置 ●「高山弘子基金」設置 ●「はる基金」設置
●第一勧業信用組合「東京ソーシャルビジネス・アクセラレーター」	●NPO組織診断のリニューアル	●Give One(ギブワン)審査への寄付適格性評価導入		2020 新編コロナ感染拡大	●オンラインによるNPO組織診断の実施	●Give Oneリニューアルオープン ●「子ども支援団体緊急支援基金」設置 ●オンライン助成申請スタート ●「コロナ給付金寄付プロジェクト」設置 ●「アーツ・ユナイテッド・ファンド」設置 ●「舞台芸術を未来に繋ぐ基金」設置 ●「Dress farm2020基金」設置 ●「匿名基金A」設置	●企業基金「ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金」設置 ●企業基金「Music Cross Aid」設置 ●企業基金「手問いらす 観光応援基金」設置 ●企業基金「J-Coin基金」設置 ●企業基金「大和証券グループ未来応援子ども支援団体サステナブル基金」設置
		●新型コロナウイルスに伴うNPOの課題調査		2021 2022年1月現在		●休眠預金活用事業(資金分配団体)「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」 ●休眠預金活用事業(資金分配団体)「コロナ禍の住宅困窮者支援事業」	●企業基金「東京海上日動キャリアサービス働く力応援基金」設置 ●企業基金「ゴールドマン・サックス地域協働子ども包括支援基金」設置
			●組織基盤強化助成20年間の成果評価の実施(パナソニック)			●「ゆーじ基金ひとり親支援プログラム」設置 ●「女性リーダー支援基金」設置 ●「上村清子&幸男結核予防基金」設置 ●「高田弘子基金」設置 ●職場募金システムの検討・開発	●企業基金「渡邊利三国際奨学基金」設置 ●「塩沼亮満大阿蘭梨基金」設置
						●休眠預金活用事業(資金分配団体)「子どもシェルター新設事業」	

特集1 新型コロナに対応した基金の運営

2020年に国内で始まった新型コロナウイルス感染症とその防止策は、子どもをはじめとする広範囲な社会的弱者等とそれを支援するNPOに対して、今なお大きな影響を及ぼしています。

初動としては、2020年3月に新型コロナ対策として全国の小中高が一斉臨時休校となったことを受け、オンライン寄付サイトGive One(ギブワン)に認証登録中の子ども分野NPOを対象とした緊急アンケート調査を実施。新たな支援ニーズ、支援を届けることの困難さ、事業収入や寄付の減少による経営難などの課題を明らかにしました。

その後、コロナ禍で困難に直面している人たちを支援したいという個人や企業からの寄付、アーティストやミュージシャンの呼び掛けによるファンや一般の皆さんからのオンラインやクラウドファンディングサイトを通じた寄付、さらにはYahooやトラストバンクとの連携による広範囲なオンライン寄付を実施しました。子ども支援団体のための基金をはじめ、芸術家や中小企業、医療従事者への支援などにも対象を広げて、2020年度は15の基金で約10万件、14億2000万円に及び寄付を集めることができました。

多くの分野への助成プログラムは1年間でのべ33本となり、応募件数は約6,000件、助成対象先は約1,000件に上り、助成総額は10億円を超えました。

2021年度に入っても、コロナ禍による社会的弱者への影響は深刻化しており、引き続き5つの基金で寄付募集と助成を継続しています。

新型コロナに対応する基金2020年度実績(創設順)

単位:円

基金名	概要	寄付総額	総助成金額
子ども支援団体等緊急支援基金	子ども支援団体等の事業継続や組織運営を支援	14,075,205	11,294,400
ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金 第1フェーズ	生活困窮家庭の子どもたちやその家庭を支援	150,010,250	139,509,532
ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金 第2フェーズ	コロナ禍の子どもと家庭の心のケアを支援		
アーツ・ユナイテッド・ファンド	芸術文化活動の個人の担い手を支援	17,641,280	15,200,000
舞台芸術を未来に繋ぐ基金	舞台芸術に携わる人・団体等を支援	54,155,728	48,439,589
コロナ給付金寄付プロジェクト	10万円特別給付金等の寄付を原資に4つの分野において支援		
	-医療分野助成基金	168,124,523	101,069,942
	-福祉・教育・子ども分野助成基金	74,841,218	53,084,116
	-文化・芸術・スポーツ分野助成基金	38,458,254	28,657,826
	-経営困難に追い込まれた中小企業分野助成基金	62,807,285	32,091,240
Dress farm 2020基金	医療従事者とエンタテインメント従事者を支援	11,006,993	9,555,944
MusicCrossAid -ライブエンタメ従事者支援基金-	ライブエンタメ従事者を支援	225,677,145	114,156,472
J-Coin基金	医療機関、子どもたち、生活困窮家庭、学生、地域活性化を支援	507,652,109	449,481,769
手間いらず観光応援基金	宿泊業を営む中小企業・個人事業主を支援	10,000,000	9,600,000
大和証券グループ未来応援バンド こども支援団体サステナブル基金	感染症や災害に向け子ども支援団体のレジリエンス向上を支援	35,199,455	24,735,400
匿名基金A	コロナ禍で社会的に最も弱い立場にある子どもたちを守る活動を支援	50,000,000	45,000,000
合計金額		1,419,649,445	1,081,876,230

加えて、公募から入金までの全オンライン化を実施し、公募開始から審査・助成金入金までを最短1ヶ月で行う体制を構築しました。また、今まで助成対象としてこなかった医療機関やアーティスト、中小企業についても助成金交付を実施するため、審査方法のノウハウ構築を行いました。

新型コロナの及ぼす被害は、第2フェーズに入ってきたのではないかと考えています。変わりゆくニーズや課題の深刻化に対応するため、今後も支援内容を臨機応変に変化させ、支援を継続します。

公募プロセスをすべてオンライン化・テレワークの活用

新型コロナに対応した基金にて助成事業を実施する上で、最重要課題だったのは「いかに早く、広く助成金を現場に届けるか」ということでした。ポイントとしては、

- ① コロナ禍で緊急対応をしているNPO等団体が、多忙な業務の中でも応募しやすいシステムを作ること
- ② 弊財団での事務処理および審査委員による審査業務を効率化・オンライン化し、公募から助成金入金までを最短およそ1ヶ月の短期で実現し、少しでも早く助成金を交付することが求められました。

オンライン化にあたっては、多くの方になじみがあり、カスタマイズも自由なGoogleのサービスを採用しました。申請受付をフォーム化し、その後のデータ管理、審査、結果通知、電子契約、報告書の取り寄せまで、すべてをオンライン化させました。その結果、1助成プログラムあたり1,700件を超える応募にも対応することができ、またスピーディーに助成金を交付することが可能になりました。今後も、さらに応募する皆様が使いやすいシステムとなるようブラッシュアップを行い、新型コロナに対応した基金に限らず全ての助成事業において効率的・スピーディーに助成金をお届けします。

同時に、モバイルワークと在宅ワークを可能とするテレワークの仕組みを導入しました。これにより、新型コロナ感染拡大に伴い、職員全員が在宅勤務となりましたが、スムーズに助成事業を展開することができました。現在では、内部の職員だけでなく、様々な助成事業の運営に関わって頂く外部の方々にも活用して頂き、財団内のほとんどの業務をクラウド上で遂行することができています。コロナ禍における基金運用や助成事業の展開に柔軟に対応しながら、新しい社会の創造に取り組んで参ります。



匿名基金Aの助成対象団体の活動



特集2 アフターコロナに備えて

コロナ禍は、社会や生活、価値観に大きな変化をもたらしました。その一つが、格差の拡大です。経済においては「K字経済」が言われ、業績の良い業種と低迷する業種間の格差拡大、富裕層と貧困層の格差拡大が顕在化しています。雇用でもテレワークで在宅勤務ができ安定収入を得ている大企業社員がいる一方で、在宅勤務はおろか非正規雇用のために仕事を失い路頭に迷う人々が続出しています。特に、女性の非正規雇用者への影響は甚大であり、シングルマザーの場合、子どもたちには飢餓の危機すら生じています。

市場や企業も、政府・自治体も、こうした社会的弱者へのセーフティネットとして十分に機能しないことが、より鮮明になっています。「光の当たらない社会的弱者」の暮らしと命を支える血の通った公共サービスを担うNPO等の役割の重要性がクローズアップされているのです。

NPO等が担う公共サービスが政府とは異なる特長を持つことを認識し、NPO等の比重を高める必要があります。人々の生活や生命のケアに求められる重要な要素は、受益者との信頼関係です。困窮者一人ひとりと向き合うNPO等は、相互の信頼関係の上に市民による市民へのケアサービスを担っています。今こそ、セーフティネットを増強し、資本主義の不備から人々を守るための支援が必要とされています。

大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金 ～コロナ禍や今後発生しうる感染症・災害に備えて～

大和証券グループは2017年から、持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動として、貧困状況下にある子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に、「大和証券グループ 夢に向かって!こどもスマイルプロジェクト」を開始しました。その一環として、新型コロナによる緊急事態を受けて、「大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金」を新たに創設しました。2020年6月に発行した社債「大和証券グループ未来応援ボンド」の手取金の一部を、本基金への寄付金に充当しています。

本基金は、新型コロナのような感染症の流行や、昨今の豪雨災害、また今後予期される首都直下型地震・南海トラフ地震等の自然災害の発生時においても、子どもが必要な支援を継続的に受けられることができるよう、子ども支援団体が平時より団体運営の持続可能性とレジリエンスを高めることを応援してまいります。

寄付総額……………35,199,455円
助成金額……………24,735,400円
応募団体数……………60件
助成対象団体数……………8団体

助成対象団体名と支援対象事業名

- NPO法人アスクネット「オンラインユースセンター構築事業」
- NPO法人サンカクシャ
「コロナ禍の影響を踏まえた事業計画の見直しや対面で行う緊急支援における感染予防対策マニュアルの作成」
- 認定NPO法人3keys「行政予算の少ない子ども支援の応援基盤づくり」
- 認定NPO法人D×P「web 改訂と広告運用でファンドレイジング強化」
- NPO法人トイボックス「緊急ICT教育環境整備事業」
- NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
「官民連携を推進するための基盤整備と、食支援のソフトインフラ整備」
- 認定NPO法人PIECES「事業の普及・拡大フェーズを支えるためのファンドレイズ基盤強化プロジェクト」
- NPO法人フェアスタートサポート「オンライン就労支援事業のモデル化」

移民・難民支援基金

～新型コロナで職や住居を失う外国人などを支援～

移民・難民支援基金は、日本国内の難民や外国にルーツをもつ人々の生活環境の改善を目的に創設された基金です。日本では難民認定率が極めて低く、収容所では人権侵害の問題も発生しています。移民においても、外国人労働者を取り巻く貧困や差別といった問題が深刻化していて、特に新型コロナによる経済活動の低迷により、職や住居を失う外国人が多く発生しています。そのような劣悪な環境にある移民・難民を支援する非営利民間団体に対して継続的な資金助成を行っています。

1団体あたりの助成金……………400,000円～600,000円

助成対象団体数……………6団体

助成対象団体名

- 福島移住女性支援ネットワーク
- NPO法人JFCネットワーク
- グルド日本語教室
- RAFIQ
- NPO法人名古屋難民支援室
- NPO法人北関東医療相談会



ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援

～地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現する～

本基金は、全国の子どもたちを支える実践者の応援を行ってほしいという想いから、ゴールドマン・サックスの寄付をもとに設立されたものです。基金運営には、弊財団と、地域で“子どもと出会い・繋がり・支える”子ども包括支援に取り組んできた NPO法人Learning for Allが協働して取り組みます。

本基金は、地域特性に即した「地域協働型子ども包括支援」の継続的実践をめざして体制構築、組織基盤強化、活動の強化や支援拡充に取り組む団体に対し、資金助成を行うと共に、NPO法人Learning for Allによる伴走支援を提供するものです。

本基金は2つのタイプの助成プログラムで実施します。

助成タイプA

地域協働型子ども包括支援構築・組織基盤強化助成

地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現するための運営強化・改善と組織基盤強化を応援するものです。

1団体あたりの助成金……………年間上限600万円
(最大2年半で計1800万円を上限)

助成対象団体数……………5団体

助成対象団体名

- NPO法人ビーンズふくしま
- NPO法人STORIA
- NPO法人あっとすくーる
- NPO法人いるか
- NPO法人ダイバーシティ工房

助成タイプB

子ども支援活動強化助成

地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現するために既存活動の強化や新規支援拡充を応援するものです。

1団体あたりの助成金……………年間上限200万円
(単年度助成)

助成対象団体数……………4団体

助成対象団体名

- 認定NPO法人抱樸
- NPO法人アスイク
- NPO法人ケアット
- 一般社団法人SGSG

誰ひとり取り残さない社会に向けて、新しい共助の仕組みづくりとして「新しい職場募金」を推進していきます。

新たな職場募金の経緯

休眠預金事業の資金分配団体として、支援付き住宅建設事業(▶P.12)を実施していますが、この伴走支援の一環として、民間資金の調達のために新たなオンラインによる職場募金システムの構築を図り、企業の社会貢献の一環としての職場募金を進めています。

将来的には、職場募金が民間寄付推進のための社会インフラとなることを目指すものです。

職場募金をめぐる環境変化

環境変化としては、次の3点があげられます。

- ① SDGsの達成に向けて、企業が社員と共に、簡便に実施できるインパクトのある社会貢献活動が求められている
- ② 社会の一員としての、社員の社会性やリーダーシップ開発の必要性、特にZ世代に向けた社員教育の模索
- ③ クラウドやオンラインを活用した企業ごとの専用職場募金サイトの活用が可能となったこと

新しい職場募金が目指す特長～社員と企業の協働によるインパクトある社会貢献～

- 各企業のマテリアリティ、CSR方針に沿ったSDGsの関係のリアルな切り口
- 社員が負担感なく社会参画(寄付、ボランティア等)できる機会の提供
- 寄付を通じたNPOと企業の新たな協働のきっかけ
- 社員のロイヤリティ、モチベーションのアップ
- ソーシャルな消費者、顧客をひきつけると企業イメージの向上

クラウドサービスを活用した新しい職場募金システムの構築・運営

- 世界最大の職場募金組織United Way Worldwideの協力のもとそのノウハウをモデルとして、日本版の職場募金システムを構築
- 企業ごとのマテリアリティ、CSR方針に沿ってカスタマイズされた個別・専用の社会貢献サイト
- SDGs達成に向けた社内プラットフォームとしての活用も可能
- 「お金で応援、活動で応援、言葉で応援」など、手軽に誰でも社会貢献に一歩が踏み出せる仕掛けの搭載
- 寄付先について、おすすめプロジェクトの表示のほか、多様なNPO等から寄付先を選択して寄付することも可能



寄付を託す先として重要なのは、信頼できる組織であることに加えて、社会変革に効果的に取り組む団体であることです。弊財団ではそのような団体を発掘し認証するために、NPCのフレームワーク(※)をベースとした認証システムを開発し、毎年審査を行っています。現在は認証を受けた200以上の団体が、オンライン寄付サイトGive One(ギブワン)に掲載されています。

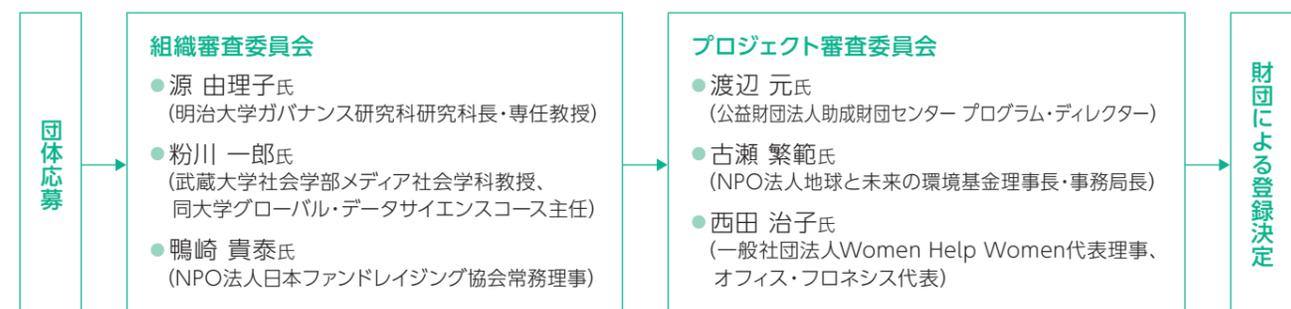
「寄付先を選んで今すぐ寄付したい」「まとまった寄付を基金にプールして関心のある分野の団体に寄付していきたい」「寄付の税制優遇を受けられるようにしたい」など、企業や個人のみなさまの寄付に関するご要望に応じています。

※イギリスのシンクタンクであるNew Philanthropy Capitalが開発した、優れたNPOであるかを確認するためのフレームワークです。取り組むべき社会課題に対して、効果的な事業を行う組織であるか(社会的インパクト)、寄付を確実に活かす組織であるか(信頼性)、という2つの視点で4つの領域(目的、効果的な実践、人、財政と運営)が構成されています

寄付適格性認証の項目

<p>〈領域1〉 目的</p>	<p>①ビジョンとミッションはニーズに込込しているか ②目標を達成するための優れた戦略を持っているか</p>	<p>③活動は戦略を反映しているか ④成果を出しているか</p>
<p>〈領域2〉 効果的な実践</p>	<p>⑤学び改善するために情報を活用しているか ⑥自分たちが達成することは何か、明確になっているか</p>	<p>⑦正しく評価を行っているか ⑧評価の結果を公開しているか</p>
<p>〈領域3〉 人</p>	<p>⑨優れたリーダーシップがあるか ⑩優れた人材を採用し、やる気を引き出しているか ⑪ガバナンスはしっかりしているか</p>	<p>⑫プログラムの利用者も団体の活動にうまく巻き込んでいるか ⑬健全な組織文化があるか</p>
<p>〈領域4〉 財政と運営</p>	<p>⑭必要な資金を十分に確保できているか ⑮財政運営は優れているか</p>	<p>⑯業務管理は優れているか ⑰すべてのリソースを効率的に活用できているか</p>

認証の方法



特集5 休眠預金の活用

弊財団は、休眠預金活用制度の資金分配団体として、2019年度に2事業、2020年度に通常枠1事業とコロナ緊急枠1事業、さらに2021年度に1事業が採択され、運用しています。

これまでの基金運営や助成プログラムの経験と、社会的課題のリサーチを踏まえて、今、解決を求められる喫緊の社会的課題を抽出し、その課題解決に取り組むNPO等の的確な選定に取り組んでいます。

いずれの事業においても、全国各地において先進的な事業を展開しているNPO等の実行団体に対して助成金による資金支援しながら、プログラムオフィサーと専門家やコンソーシアム構成団体によるコンサルティングや評価支援などの伴走支援を行っています。また、伴走支援の一環として、民間資金の調達のために、新たなオンラインによる職場募金システムの構築・運用を進めています。

各事業は着実に成果を挙げつつあります。国民の財産である休眠預金の活用という視点からも、国民の負託に応えることができるように支援を続けてまいります。



子ども支援団体の組織基盤強化

子ども支援に取り組む団体の組織基盤強化事業を支援することで、子ども支援のプログラムやサービスの量や質が向上し、5～10年後には最終受益者である子どもの状況が改善される社会環境となっていくことを目指すものです。2020年度は助成対象団体の公募・審査を行い、4団体を実行団体として選定しました。

受入助成金額 …… 40,043,871円
(2019年度・2020年度分、コロナ追加助成、PO関連経費、評価関連経費含む)
助成額 …… 23,457,200円
(2020年度分、コロナ追加助成、評価関連経費含む)
応募件数 …… 21件

実行団体
● NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい
● 認定NPO法人発達わんぱく会
● 認定NPO法人ブリッジフォースマイル
● 一般社団法人無限
実行団体の事業実施期間 …… 2020年4月～2023年3月

支援付き住宅建設・人材育成事業

本事業は、無料低額宿泊所の新基準に対応する改修・建替え費用を助成すると同時に、質の高い生活支援人材の育成を通じ、「住まい」と「生活支援」をセットで提供するソーシャルビジネスのビジネスモデルの構築を支援するものです。2020年度は助成対象団体の公募・審査を行い、3団体を実行団体として選定しました。

受入助成金額 …… 61,842,428円 (2020年度分、PO関連経費、評価関連経費含む)
助成額 …… 42,620,000円 (2020年度分、評価関連経費含む)
応募件数 …… 8件
実行団体
● NPO法人自立支援センターふるさとの会
● NPO法人抱樸
● NPO法人ワンファミリー仙台
実行団体の事業実施期間 …… 2020年11月～2023年3月



中核的フードバンクによる地域包括支援体制

本事業は、食支援の担い手となっている各地域のフードバンクのうち、地域の食支援ネットワークの中核となる団体の基盤強化を行います。これにより団体の継続的な食品・資金調達につなげ、地域の食支援を行う他団体等と連携関係をつくることを通じ、県域レベルの包括的な食支援の体制構築を目指します。

2020年度には本事業の資金分配団体として選定され、2021年に助成対象団体の公募・審査を行い、5団体を実行団体として選定しました。

受入助成金額 …… 87,701,560円 (2020年度・2021年度分合算、PO関連経費、評価関連経費含む)
助成額 …… 54,939,271円 (2021年度分、評価関連経費含む)
応募件数 …… 20件
実行団体
● 認定NPO法人フードバンク山梨 ● NPO法人フードバンクTAMA
● 企業組合労協船橋事業団フードバンクちば ● 公益社団法人フードバンクかながわ
● NPO法人フードバンクネット西埼玉
実行団体の事業実施期間 …… 2021年7月～2024年3月



フードバンク山梨の活動風景



フードバンクネット西埼玉の活動風景

コロナ禍の住宅困窮者支援事業

本事業は、休眠預金等活用法に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業として、新型コロナの影響で住まいや居場所を失い、生活の立て直しが必要な人を対象としています。「住まい」と「就労支援を含む自立支援」をセットで提供する社会的事業の構築を、住宅物件取得のための初期投資へ資金提供することで支援し、その後の持続可能な支援付き住宅提供システムの構築を目指すものです。2021年度には、助成対象団体の公募・審査を行い、4団体を実行団体として選定しました。

受入助成金額 …… 502,999,762円 (2021年度分、PO関連経費含む)
助成額 …… 378,915,321円 (2021年度分)
応募件数 …… 15件
実行団体
● 一般社団法人Colabo
● NPO法人POPOLO
● 社会福祉法人共生福祉会
● NPO法人ささえる
実行団体の事業実施期間 …… 2021年9月～2022年2月

オリジナル基金[®] ※2020年7月13日付けで商標登録されました

あなたの想いを、社会で実現するために

結婚記念、退職、古希や米寿、相続や遺言による寄付など、人生の節目に寄付をしたい。企業の新商品発表、周年記念事業などの折に社会貢献をしたい。そのような寄付者の様々な想いを形にする、オリジナル基金を推進しています。

志を活かすオリジナルプログラムの設計

弊財団では、継続的に社会貢献したいという方のお志をかなえるために、新規に財団を設立するのと同様の機能を持たせることのできる「基金」の設立でサポートをしています。基金は100万円から創設できます。ご希望の名称を付けられるほか、ご寄付いただく方の想いを基金に表すことができます。

- 個人の方も、法人の方も創設いただけます。
- ご希望の名称をお付けいただけます。
- 弊財団へのご寄付は税制優遇の対象となります。
- ご希望によって、寄付者の基金設立に寄せる想いやご家族の歴史を、パンフレットやビデオにまとめます。
- まとまった額のオリジナル基金の場合は、複数年にわたる助成を設計することができます。
- 支援の形は「経済的に困難な子どもたちへの奨学金」「NPO等への資金助成」「熱心に活動する若手リーダーへの顕彰」など様々なご要望についてご相談をお受けしています。



設置している基金 (2022年1月現在 全35基金)

テーマ基金

- **AED・地域あんしん基金** AEDが地域のどこでも使えるように
- **アート&ヘルス基金** ケアの現場に「生きることを支えるアート」を
- **ふくしま未来基金** 30年後の福島が、人々がいきいきと暮らせる地域であるように (▶P.18)
- **あい基金** 女性の経済的自立を目指して
- **女性リーダー支援基金** 女性の社会的地位の向上を目指して (▶P.23)
- **魚沼の未来基金** 魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援 (▶P.22)
- **東北3.11基金** 東日本大震災で影響を受けた子どもや保護者を支援
- **Good Job!基金** 障がいのある人と協働した取り組みを実践する取り組みを支援

個人基金

- **ゆーじ基金** ひとり親の看護師の子女を対象に高校進学・進級費用を応援
- **I.H.K基金** 医療福祉分野で活躍する児童養護施設出身の女性を応援
- **Women's Social Change Fund** 女性が女性を支援するエコシステムを開発
- **謝縁教育基金** 未来を担う世代への恩送り
- **移民・難民支援基金** 日本国内の外国籍や外国にルーツをもつ人々を支援 (▶P.9)
- **上村清子&幸男結核予防基金** 結核の予防や治療・研究に取り組む団体を支援 (▶P.17)
- **高田弘子基金** 難民家庭の児童の高等教育修学を支援
- **渡邊利三国際奨学基金** 難民の背景を持つ若者の大学進学等を支援
- **塩沼亮潤 大阿闍梨基金** 厳しい暮らしに直面している子どもや生活困窮者を支援
- **感動体験支援基金** 子どもたちへの感動体験の提供により将来的な貧困連鎖の解消を支援

フィランソロピー・コンサルティング

社会貢献の想いを形にする

弊財団では、社会貢献を考える個人、企業の方、寄付や遺贈をサポートする弁護士や税理士等の専門家や金融機関がお持ちになる様々なご質問、ご要望におこたえして、お志の実現をサポートしています。

- 想いを実現できる最適な寄付先はどこだろうか？
- オリジナル基金を創設したい！
- 遺贈寄付にまつわる様々なご相談
- 不動産や株式などの資産寄付を考えている。
- 弁護士や税理士など遺贈寄付に習熟した専門家を紹介してほしい！
- 一般財団、社団をつくりたい。
- 既存の財団の改善や運営受託
- 公益法人化に向けての助言、支援
- 助成プログラムの見直し、制度設計、実施支援
- 企業の社会貢献プログラムの設計や運営の受託
- 社員募金、社員ボランティア、プロボノプログラムを実現したい！
- 購買連動型寄付(コース・リレーテッド・マーケティング)の企画、実施支援 など

ご提案する社会貢献活動の例

- ・ NPOや社会的企業への助成金提供
- ・ 個人に対する奨学金制度
- ・ 個人や団体を顕彰する表彰制度
- ・ ボランティアやスタディツアーの実施
- ・ NPOや社会的企業の組織基盤強化のためのコンサルタント派遣や研修事業の実施
- ・ 政策研究、アドボカシー、ネットワーキングの支援

企業基金

- **未来につながるさと基金** 生物多様性の啓発プログラムの実施を支援 (▶P.21)
- **大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金** 貧困の連鎖を断ち切るイノベティブな事業開発を支援 (▶P.20)
- **大和証券グループ 未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金** 子ども支援団体が事業継続性を高めるための支援 (▶P.8)
- **大和証券グループ サンタチャリティープログラム** 恵まれない子どもたちにクリスマスプレゼントを贈る
- **MHD緊急災害支援基金** 緊急災害にスピーディーに対応する (▶P.20)
- **ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金** 地域協働型子ども包括支援の継続的実践を支援 (▶P.9)
- **東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金** 働くことに困難を抱える方々の就労を支援

遺贈・相続財産からのご寄付によって創設された基金 (▶P.16)

- **高山弘子基金** 日本のすべての子どもたちの健やかな成長を願って
- **佐渡水仙基金** 医療系人材の育成を願って
- **ビックブリッジ基金** 将来の子どもたちに美しい環境を継承するために
- **じゅんき教育基金** 相続した不動産を基に困難を抱える子どもの教育を支援
- **(仮称)森山基金** 遺贈による永続型の地域づくり支援基金
- **NOBUKO基金** 金銭的な理由で不合理な立場にある子どもたちを支援

新型コロナウイルス感染症に係る基金 (▶P.6)

- **コロナ給付金寄付プロジェクト** 10万円給付金を寄付に変えて団体や企業、個人を支援
- **手間いらず観光応援基金** 地域に貢献する宿泊業を営む中小企業、個人事業主を支援
- **MusicCrossAid-ライブエンタメ従事者支援基金-** エンタメを支えてきた技術者や団体を支援
- **匿名基金A** 光の当たらない被害者として取り残されている子どもたちを支援

人生の集大成としての寄付

遺言や相続による寄付について

達成感ある仕事、充実した家庭生活。人生のゴールデンエイジこそ、社会への貢献にお力を発揮いただくに最適なときではないでしょうか。これまでに培われた知見、資産、ネットワークを、社会をより良くするためにお使いいただくことは、人生の充実に欠かせません。

有益な社会活動へご寄付いただくことで、ご自身の資産や相続された財産を、末永く次の世代へ受け継いでいくことができます。財産を残すだけでなく、より良い社会への思いを形にして後世に伝えていくことこそ、価値ある相続ではないでしょうか。

じゅんき教育基金 ～不動産寄付にもとづき有価証券で運用する永続型基金～

じゅんき教育基金は、ご遺志に沿って困難を抱える子どもの教育支援を行うことを目的に、相続財産によって創設されたオリジナル基金です。2019年度後半に、税制優遇の特例制度を活用して不動産を有価証券(約8百万円相当)に買換え、運用を開始しました。2020年度は、翌年度に開始する以下の助成分の原資を運用益から確保したうえで、収益率6%を超える年度末評価額となりました。今後も、安定的な運用によって、目的に沿った継続的な支援の原資を得ていく予定です。

助成金額 200,000円(2021年度予定)
助成対象団体数 1団体
助成対象団体名 NPO法人キッズドア(予定:GiveOne審査済み団体から選定)

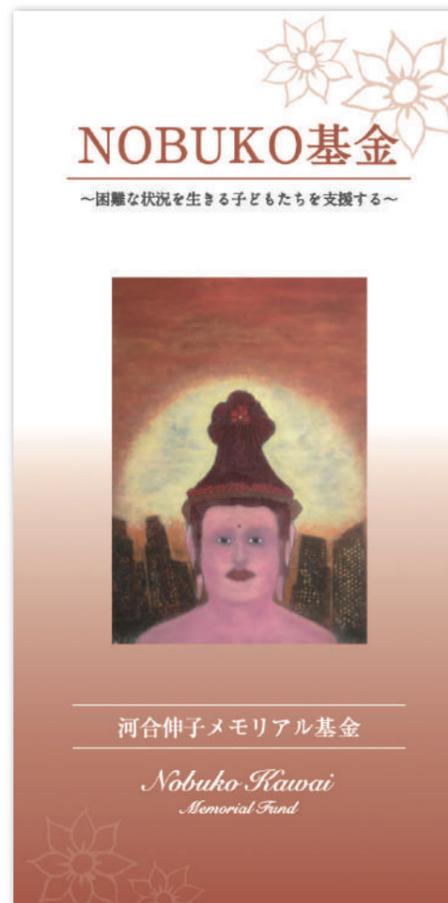
NOBUKO基金 ～困難な状況を生きる子どもたちを支援する～

「NOBUKO基金」は、41歳の若さでご逝去された河合伸子様のご遺産を原資として、お父様からのご寄付により、伸子様のご遺志に基づき、困難を抱える子どもや家庭に育つ子どもたちを支援することを目的に設立されたオリジナル基金です。

当基金は、前向きで行動力のある子どもが育つことを願い、子どもたちが困難を乗り越え、可能性を最大限に伸ばせるように、次の3分野で先駆的な支援活動を行っているNPOに対して助成を行います。

- ① シングルマザー支援を行うNPO等の活動
- ② 虐待を受けた子どもに対する支援を行うNPO等の活動
- ③ 能力がありながら何らかの事情で能力を伸ばせない子どもに対する支援を行うNPO等の活動

助成金額 各団体年間2,500,000円
(3年間の助成総額:45,000,000円)
助成対象団体数 6団体
助成対象団体名
● 認定NPO法人女性のスペース結
● NPO法人障がい者みらい創造センター
● 認定NPO法人フリースペースたまりば
● NPO法人ファミリーステーションRin
● NPO法人グッドネーバース・ジャパン
● 認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク



ビックブリッジ基金 ～次世代にプラゴミのない環境を～

ビックブリッジ基金は、「美しい故郷の環境を子どもたちの世代に継承したい」という寄付者のご意志によって創設された基金です。特に「海洋プラスチックごみ問題」に強い危機感を持ち、プラゴミに関する環境保全活動等を行っている団体を継続的に支援しています。

当基金は寄付者自身の将来の遺贈先としても活用され、ご自身が亡くなった後においても、長きに渡って寄付者のご遺志を果たすことを可能とする大変意義のあるオリジナル基金です。

助成金額 170,000円
助成対象団体数 1団体(GiveOne審査済み団体から選定)
助成対象団体名 NPO法人おいた環境保全フォーラム



地域住民との海岸清掃



小学校での講演会



プラスチックウミガメ完成の様子



ウミガメの放流

上村清子&幸男 結核予防基金 ～母のように結核で苦しむ人を一人でも減らしたい～

「上村清子&幸男 結核予防基金」は、長い年月を「肺結核」の療養生活に費やされた上村清子様の生涯を長く記憶にとどめたいという息子である幸男様の想いをもとに設立されました。感染症である結核症の新規感染者が、いまだに発生している現状を憂いて、結核の予防支援や治療活動に取り組んでいる医療機関や非営利団体や研究者、専門家へ助成を行うことを目的とする基金です。

当基金では特に、近年増加している外国人等の結核患者への対応が課題となっている状況を鑑み、外国人等の結核罹患者の早期発見及び診療の際の通訳サポート、継続的な診療、調査研究など、外国人等の結核に関わる活動を支援するオリジナル基金です。

助成金額 800,000円
助成対象団体数 1団体
助成対象団体名 公益財団法人結核予防会結核研究所

ふくしま未来基金

30年後の福島を元気にしたい

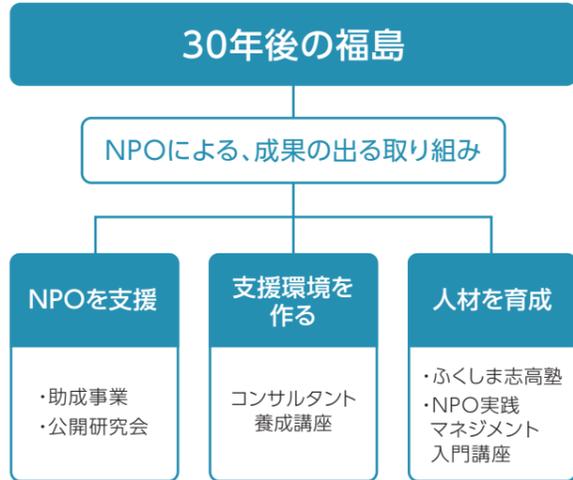
30年後の福島が、誰もがいきいきと生きていける地域となることに貢献するNPO等を支援しようと、福島県内の実業家および地域貢献をめざす企業からの寄付によって2014年に創設されました。東日本大震災から10年が過ぎましたが、福島県は原発事故によって、住民の帰還や復興などが他県に比較して立ち遅れています。それにもかかわらず、資金支援は次々と撤退しています。福島のNPOは「増える支援ニーズ」と「資金の減少」というはざまに立たされており、職員や役員たちもギリギリの状況で奮闘している現実があります。

寄付者のコメント

ふくしま未来基金 創設者
佐藤 勝三様



30年後の福島を元気で明るい社会にするため、パブリックリソース財団と一緒にふくしまの未来づくりに取り組み始めて、6年目となりました。ふくしま未来基金を始めとした「助成事業」や「ふくしま志高塾」、「コンサルタント養成講座」など、様々な方向から複合的に支援を行うことで、成果をあげはじめています。福島の団体が今後ますます元気になるように、県内の皆様と共に、福島の未来を創っていただけたら良いと考えております。



2本立ての助成事業

福島の将来を支える中核的な団体への「未来づくり助成」と、人々の心と生活の復興に貢献する民間活動を支援する「まちづくり草の根助成」の2本立てで助成事業を行っています。

未来づくり助成

300万円の助成金 + 50万円分のコンサルティング支援

まちづくり草の根助成

100万円の助成金 + 組織診断



寄付金額(累計).....352,590,500円

助成金額.....11,833,000円

応募団体数.....42団体

助成対象団体数.....11団体

助成対象団体名と助成対象事業名

【未来づくり助成】()内は支援年数

- NPO法人いざかサポーターズクラブ(2)
「体験アクティビティプログラムの拡充」

【まちづくり草の根助成】

- いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana
「双葉郡の子育てWEBメディア「コトハナオンライン」事業」
- NPO法人0073(おおなみ)
「農業6次化による大波から接続可能な社会づくり(SDGs)への挑戦」
- 認定NPO法人キャリア・デザイナーズ
「生きづらさを感じているニート・ひきこもりの社会包摂プロジェクト」

- NPO法人子育て支援コミュニティチママン
「すこやかふくしまキッズプログラム事業(課題解決)」

- NPO法人しんせい
「しんせいの今」を伝え持続可能なしくみをつくる活動」

- しんちの子育て考え隊
「冒険ひろば ～遊びが子どもの強い心を作るプロジェクト～」

- NPO法人野馬土
「みどりのふるさと発信 農家の種をまくプロジェクト」

- 一般社団法人福島県助産師会
「妊娠期からの子育て支援事業」

- ベルフォンテ
「転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト」

- ポレポレ-ねうぼらふくしま-
「子育て家族の孤立予防、母親支援を行う団体の組織基盤構築事業」

NPO支援の人材を増やすための「コンサルタント養成講座」

NPOマネジメントの支援ができるコンサルタントを養成することを目的に、「NPOマネジメント支援コンサルタント養成入門講座」を開講しました。2019年度は「福島の団体を支援できること」を条件に、東京で受講をしてもらいました。講座は「通信講座」「教室学習」「実際に福島で活動するNPOでの実習」の3本柱で行いました。10名の修了生は、今後経験を積みながら、福島のNPOの支援をします。

[2020年度は中止]



受講生のコメント

一般社団法人Bridge for Fukushima 事務局長
安齋 憲二様



2018年の非営利組織への転身を機に、資金調達や事業評価について学ぶ中で、NPOの経営についての幅広い支援スキルを身につけたいと考え、受講しました。この講座の魅力は、実践の場があること。県内の団体を訪問し、ヒアリングから課題分析、報告まで一連の流れを経験できたことです。講師や受講生の皆さんと、常に対話がある講座だったので、多様な気づきを得ることもできました。今後も経験を積み、県内NPOのお役に立てるよう尽力いたします。

【2019年度実績】

受講生人数.....10名

総受講時間.....通信講座[30日間]
教室学習[39時間]
実習[20時間]

実習先団体.....2団体

受講生満足度.....100%(教室学習・実習において「満足」「概ね満足」)

- 講師.....
- 株式会社PubliCo 代表取締役 CEO 長浜 洋二氏
 - 有限会社チェンジ・エージェント マネージャー 江口 潤氏
 - 認定NPO法人ムラのミライ 専務理事 宮下 和佳氏
 - 公益財団法人パブリックリソース財団 事務局長 田口 由紀絵

新しいプロジェクトに取り組む人を育てる「ふくしま志高塾」

未来を志向した夢のあるプロジェクトを地域で実現できる人材を育成するため「ふくしま志高塾」を開講しました。ふくしま志高塾は、「講義研修編」「企画研修編」「メンタリング」の3段階で構成されています。塾生たちは7ヶ月かけて熟成させたプロジェクトを「プレゼンテーション大会」で発表し、会場の方々から意見や応援をいただきました。[2020年度は中止]

【2019年度実績】

受講者数.....基礎コース2名、深化コース7名

総受講日数.....4日間+メンタリング期間3ヶ月

講師

- 一般財団法人ふくしま未来研究会
代表理事/志高塾・塾頭 佐藤 勝三氏
- NPO法人アスヘノキボウ 代表理事 小松 洋介氏

プロジェクトづくり支援助成金対象者

- 河原田 華加氏(起業型地域おこし協力隊)
- 伊藤 佳枝氏(しんちの子育て考え隊)
- 中鉢 典子氏(ともだち・カワン・コミュニティ)



助成対象に選ばれた3名

新型コロナへの対応

2019年度より感染拡大している新型コロナウイルス。福島県内においても例外ではありませんでした。ふくしま未来基金では、2020年4月に福島県内で活動するNPOに対して、NPOの置かれている状況と課題、必要な支援についての調査をいち早く実施しました。調査結果をもとに、既存の助成対象事業のスケジュールや助成金使途、活動内容を修正した他、翌年の公募に際して「新型コロナ」に対応する事業を応募しやすいようにするなど対応を行いました。

調査結果のサマリー

※2020年4月時点の解答

- 子どもや高齢者をはじめとした受益者への対面の支援がしづらい、できない
- ファンドレイジングのための対面イベントを実施できず、収入が大幅にダウンする
- 専従職員のいない団体も多く、スタッフ自らの生活や本業に対応することで精いっぱいであり、団体の活動を休止せざるを得ない団体もある
- 東日本大震災を起因として生まれた地域間・世帯間断絶によりコミュニティ内での柔軟な共助が困難になっているケースも見受けられる
- 反面、震災時に放射能汚染に対応するためにリモートでの支援、個別の支援を行った団体もあり、当時のノウハウが生かされたケースも

大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金

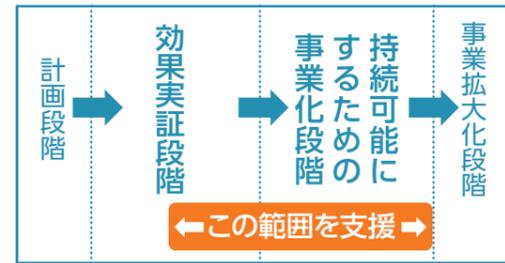
深刻な社会問題・子どもの貧困の連鎖を防ぐ

株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、貧困状況下にある子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設されました。子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業が、効果的で継続的なものになるための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを応援します。

貧困の連鎖を断ち切る、イノベティブな事業開発を応援

当基金は、子どもを支援する新しく挑戦的な仕組みを、さらに受益者を増やすことができるよう、持続可能な事業モデルとなるまでの開発段階を支援する、ユニークな助成事業です。助成金の給付される3年間に、事業性やインパクト拡大のための仕組みづくりを行い、自律できるように支援を行います。本年度は、団体の既存の活動をマニュアル化する取り組みや、他地域に支援を展開するための事業構築を行う取り組み等、4つの事業の継続支援を行いました。

NPO、社会的企業の発展段階



寄付金額 16,675,480円
 助成金額 13,400,000円
 助成対象団体数 4団体 (継続団体)

助成対象団体名と助成対象事業名

- 【継続団体】
- NPO法人パノラマ (神奈川県) 「校内居場所カフェ運営者・実施者人材育成の事業開発」
 - NPO法人フェアスタートサポート (神奈川県) 「児童養護施設を対象とした地域密着型就労支援の事業開発」
 - 認定NPO法人エデュケーションエーキューブ (福岡県) 「複合学習拠点『スタディプレイス』の事業開発」
 - 認定NPO法人D×P (大阪府) 「学校と連携した『授業』×教室を有効活用した『居場所』の事業開発」

MHD緊急災害支援基金

自然災害の甚大な被害に備える

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社のCSR社会貢献に関する取組みとして、2018年度より「MHD緊急災害支援基金」を立ち上げ、自然災害発生時の被災地支援活動への迅速な助成を行っています。平時に定期的なご寄付を基金に積み上げ、「特定非常災害」に指定されるような大きな災害発生時に現地に赴いて緊急支援活動を行うGive One登録団体に助成することで、迅速な支援が可能になっています。これまでに合計250万円の助成を行い、避難所への看護師チームの派遣や炊き出し、障がい福祉施設や保育園への衛生用品・清掃用具・大型扇風機 (浸水した床の乾燥用) などの緊急支援物資の提供、地域のボランティアセンターのサポートなどに活用されています。

これまでの緊急支援助成

年	災害	助成先団体	助成金額
2019年	台風19号被災地支援	認定NPO法人難民を助ける会	500,000円
		認定NPO法人グッドネーバーズジャパン	500,000円
2020年	九州豪雨災害被災地支援	認定NPO法人難民を助ける会	500,000円
		認定NPO法人ジャパンハート	500,000円
2021年	2021年8月豪雨	認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム	500,000円

未来につなぐふるさと基金

企業・中間支援・NPOがそれぞれの強みを活かし、生物多様性の大切さを訴える

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (以下、キヤノンMJ) より、使用済みカートリッジ回収数やコピー用紙販売数に応じたご寄付をいただいで運営しています。キヤノングループ、弊財団、日本自然保護協会が協力して、生物多様性保全の活動を行う団体を支援し、広く市民に向けた啓発に取り組んでいます。

基金創設者のコメント

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部CSR推進部CSR推進グループ
 広田 由美子様

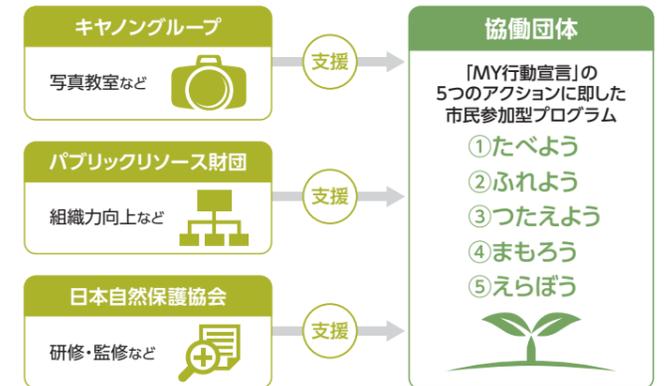


本事業では、助成金だけではなく、一眼レフカメラ写真教室の開催や組織力向上の支援なども行ってまいります。そういった活動で協働団体の皆様のお役に立てていれば大変光栄なことだと思います。引き続き、パブリックリソース財団様、日本自然保護協会様のご協力を仰ぎながら、生物多様性の保全や啓発に取り組んでいる協働団体様の活動に対して弊社ならではの支援を行い、この活動を広く波及できますよう尽力してまいります。

2020年度は、7回の写真教室の実施、42の市民参加型プログラムに計1,044名が参加しました。



未来につなぐふるさとプロジェクトの概要



各団体の活動の様子は、キヤノンMJの「未来につなぐふるさとプロジェクト」に掲載されています。
<http://cweb.canon.jp/csr/furusato/>

寄付金額 10,714,116円
 助成金額 4,831,000円
 応募団体数 30団体
 協働団体数 10団体 (新規5団体、継続5団体)
 協働団体名と支援対象事業名

【新規団体】

- NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム (東京都) 「守れ!北限のトビハゼ ごみで埋まる泥干漏救出大作戦」
- のまはら (奈良県) 「里地里山の農地保全によって持続できる自然と人との調和」
- 一般社団法人自然再生と自然保護区のための基金 (奈良県) 「学びと実践の谷まるごと里のいきもの自然保護区プロジェクト」
- NPO法人Peace & Nature (兵庫県) 「SDGs サステナブルな未来へ!自分たちで無農薬な食を作り、環境について学ぼう!」
- NPO法人グラウンドワーク三島 (静岡県) 「『水の都・三島』の原風景・原体験を未来につなごう! 源兵衛川・松毛川『ふるさととの川と森』づくり」

【継続団体】

- 一般社団法人風土人 (山梨県) 「ゆるーくつながり楽しみながら田舎の自然とふれあう! 人にも動物にも植物にも優しい農業体験!」
- 一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団 (長野県) 「ふるさとの自然の魅力を発見しよう。～身近な生きものから知る生物多様性～」
- NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議 (東京都) 「毎日の食事や生活を生物多様性の視点でみつめ、その重要性を学び、保全を意識した消費行動への変化を促す」
- ウェットランドフォーラム (福岡県) 「和白干潟の未来を創るワークショップ」
- NPO法人中池見ねっと (福井県) 「中池見ジュニアレンジャーで作った生き物避難所一号地に多くの生き物が戻ること」

10団体に対して、組織基盤強化のための支援を行いました。

支援テーマ
 ミッションの見直し、ロジックモデル作成、市民の参加を促す広報支援、生物多様性の専門家を活用した研修会

魚沼の未来基金

地域の宝である子どもたちを、地域で育てたい

「魚沼の未来基金」では、新潟県魚沼地域の塩沢信用組合の組合員を中心とする住民や企業の皆様からの志あるご寄付をもとに、地域の未来を担う人材に、返済不要の給付型奨学金「はばたき奨学金」を給付しています。

魚沼の未来基金の特徴

信用組合が組合員に呼びかけて寄付を募り、共に地域に貢献する社会貢献のプラットフォームを提供するのは、全国初の取り組みです。公益財団と協働し、基金を公益財団内におくことで、寄付者に税制優遇のメリットを提供すると同時に、寄付金使途の透明性を実現しています。



贈呈式の様子

基金創設者のコメント

塩沢信用組合 理事長
小野沢 一成様



ふるさと納税は、自治体からの返礼品を目当てにした「カタログショッピング」的な様相を呈している。同じ寄付でも見返りを求めない善意によるもの。この善意の輪は地域内は勿論、多方面に広がりがつある。この気運がもっと高まることを期待したい。ボランティア活動に参加して、地域の人たちと直接かかわることの喜びを子どもたちは感じてくれている。卒業後は、世界へ羽ばたきいづれ故郷に恩返しするような人に育ってほしい。

OB・OG会の発足

2020年3月には、当奨学金の支援を3年間受けた初めての卒業生が誕生しました。それぞれの夢に向かって次のステージに向かう卒業生たちをこれからも地域で見守り、また卒業生たちにも後輩たちのロールモデルになってもらいたい。そんな願いを込めて、「はばたき奨学金OB・OG会」を発足しました。卒業生には、卒業後の奨学金として「卒業お祝い金」を交付しました。

基金への支援の広がり

当基金は塩沢信用組合の組合員の方以外にも、新潟にルーツのある方や基金の活動に感銘を受けられた方など、全国からご寄付をいただいております。

2021年度には、当基金としては初めて相続財産からのご寄付の受け入れを行いました。地域の子どもたちを支援したいという個人のお志の受け皿として、本基金を選定されました。

また、当基金では魚沼市・南魚沼市について新潟県域においても当基金への寄付を県民税の軽減対象としていただき、より地域の皆様のご活用しやすい基金となりました。



奨学生ボランティアの様子

OB・OG会 代表のコメント

私は高校時代、魚沼の未来基金「はばたき奨学生」として、地域の皆様に支えていただけていました。そして昨年の春、高校を卒業することができました。本当に感謝しています。高校を卒業し私は今大学に通っています。私は将来、新潟県の学校の教員になりたいと考えています。私の理想の教師像の一つは、「悩んでいる子どもたちに寄り添う教師」です。この夢を実現するために、これからの大学生活も頑張っていきたいと思います。今私が大学に通うことが出来ているのは家族、地域の皆様のおかげです。支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れずに夢に向かって頑張りたいと思います。

寄付金額 ……8,275,264円
奨学金総額 ……第4期:3,270,000円
第5期:396,000円
(新1年生に対する入学準備金のみ)
卒業祝金:160,000円
応募者数 ……48名
奨学生数 ……第4期:52名
第5期:48名

女性リーダー支援基金 ～一粒の麦～

女性の社会的地位向上に自ら一石を投げたい

石川清子様の発案により、日本における意思決定過程への女性の一層の参画を通じ、女性の社会的地位向上を図ることを目指して設立されました。男女格差を国別に比較する「ジェンダーギャップ指数2021」では、日本は156ヶ国中120位、主要7ヶ国(G7)で最下位となっています。政治参画や経済的機会などにおける構造化された男女格差を是正するためには、意思決定に参画する女性リーダーを増やすことが急務であるという石川様の思いから、女性リーダーシップ開発やビジョンの実現を支援することを目的に、女性リーダーの創生に貢献いたします。

※本基金の副題である「～一粒の麦～」とは、一粒の麦は地に落ちることによって無数の実を結ぶという聖書の言葉から、女性の社会的地位向上に自ら一石を投げたいという石川様の思いを表しています

年間5人、3年間で15人に、活動奨励金を支給

支援対象を「政治家志望者」「社会活動の実践者」「社会起業家志望者」「女性のためのアクションリサーチの企画・実践者」の4分野に分け、自薦による応募者を募集しました。2021年度は20歳～64歳と幅広い年齢層から137名の応募があり、厳正なる審査の結果、さまざまな分野でリーダーを目指す5名の女性が選出されました。



女性リーダー支援基金授与式が開催されました

第1回の開催となる2021年度、10月14日に授与式を開催しました。審査委員長の上野千鶴子氏は「一粒の麦からたくさんの穂が育つことを確信した。5人は一人じゃない、背後にたくさんの女性、そして私たちがついています」とメッセージを送りました。今後は毎年1回、支援対象者が相互に学び、交流するための「交流ミーティング」を開催する予定です。女性リーダーを目指す者同士の横のつながりを形成し、相互学習(ピア・ラーニング)の機会を設けることで、一層の活動成果をあげることを目指します。



基金創設者のコメント

石川 清子様

私の寄付がこれほど大きな反響を呼び、うねりとなって、私に思いもよらぬ喜びをもたらしてくるとは、全く想像できませんでした。しかし、それは多くの人達のこうした問題への関心の強さを示す証でもあり、そのことにも大変勇気付けられました。まずは一步一步“女性の社会的地位の向上”を図るしかありません。そのための女性リーダーを早急に、しかし着実に育てるべきだと考えています。若い皆さん方に期待しています。“ガラスの天井”をつき抜け、思いを貫いてほしいと思います。

助成金額 ……5,000,000円(2021年度)

応募人数 ……137名

支援対象者 ……5名

審査委員会

審査委員長

● 上野 千鶴子氏 (東京大学 名誉教授)

審査委員

● 大崎 麻子氏 (NPO法人Gender Action Platform 理事)

● 白井 智子氏 (NPO法人新公益連盟 代表理事)

● 浜田 敬子氏 (ジャーナリスト/Business Insider Japan エグゼクティブ・アドバイザー)

支援対象者名 ※50音順

● ウィム サクラ様 (株式会社+base)
[女性が9割を占める看護業界に一石を投じることで、たくさんの女性の心を守り、挑戦しやすい社会を実現したい]

● 斎藤 明日美様 (一般社団法人Waffle)
[IT業界のジェンダーギャップを解消するため、これからを担う女子中高生にITという選択肢を届けるべく尽力する]

● 能條 桃子様 (一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN)
[基金を通じ、若者・女性の声が政治に反映されるための仕組みづくりを学び、実践する予定]

● 濱田 真里様 (Stand by Women)
[議員に対するハラスメントの調査研究や、議員へのサポート、研修の提供、問題の啓蒙活動などを実施予定]

● 吉岡 マコ様 (NPO法人シングルマザーズシスターフード)
[シングルマザーの心身のセルフケアとエンパワメントが起きるプラットフォーム作りに奮闘中。担い手の育成にも注力]

あなたの関心と身近な行動から支援を

日本で最初のオンライン寄付サイト「Give One (ギブワン)」

収入の1%を寄付しよう、という想いを名前に込めたオンライン寄付サイトGive One (ギブワン)。

初めての方でも手軽に、気軽に、1,000円からご寄付いただけます。

環境、子ども、まちづくり、災害復興など多くのテーマ、地域のプロジェクトを網羅することで、ユーザーに今の社会課題に触れていただき、共感するNPOへの寄付を通じて社会貢献に参加できる機会を提供しています。

社会的インパクトを出せる組織であるか	目的	インパクトの実践
組織の信頼性	人	財政と管理

Give One 認証登録団体一覧

【国際協力】 シャプラニール=市民による海外協力の会 / 難民を助ける会 (AAR Japan) / ピースウィンズ・ジャパン / アムダ (AMDA) / アジア・アフリカと共に歩む会 / ハンガー・フリー・ワールド / 地球の友と歩む会 (LIFE) / 日本国際ボランティアセンター (JVC) / タンザニア・ポレボレクラブ / ケア・インターナショナル ジャパン / アイキャン / ジャパン・プラットフォーム / 民際センター / 日本国際民間協力会 (NICCO) / パレスチナ子どものキャンペーン / チャイルド・ファンド・ジャパン / ブリッジ エーシア ジャパン / グッドネーパーズ・ジャパン / 日本地雷処理を支援する会 (JMAS) / JHP・学校をつくる会 / シャンティ国際ボランティア会 / ジャパンハート / e-Education / ウォーターエイドジャパン / エイズ孤児支援NGO・PLAS / Earth Company (アース・カンパニー) / モザンビークのいのちをつなぐ会 / CIESF / アクセプト・インターナショナル / PHD協会 / フィリピン日系人リーガルサポートセンター / 地球市民の会 / JEN **【環境】** 環境=文化NGO ナマケモノ倶楽部 / サンクチュアリ エヌピーオー / 霧多布湿原ナショナルトラスト / 白神山地を守る会 / 日本ウミガメ協議会 / 気候ネットワーク / A SEED JAPAN / 緑の地球ネットワーク / 国際環境NGO FoE Japan / 共存の森ネットワーク / トラ・ゾウ保護基金 / エバーラスティング・ネイチャー / 樹木・環境ネットワーク協会 / 日本クマネットワーク (JBN) / きょうとグリーンファンド / JUON NETWORK (樹恩ネットワーク) / 知床自然大学院大学設立財団 / 大雪山自然学校 / more trees / 棚田LOVER's / おおいた環境保全フォーラム / 宮古島海の環境ネットワーク / 日本生態系協会 / シマフクロウ・エイド / 森づくりフォーラム / しずおか環境教育研究会 **【東日本大震災】** グリーンサポートセンター 福島れんげの会 / いわき放射能市民測定室たらちね / 桜ライン311 / MORIUMIUS **【障がい者】** ぱれっと / バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター / DPI日本会議 / トゥギャザー / 長野サマライズ・センター / インフォメーションギャップバスター / たんぼぼの家 **【女性】** 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ / 全国女性シェルターネット / はたらく女性の全国センター (ACW2) / 石巻復興支援ネットワーク / ピルコン / GrowAsPeople **【子ども】** SOS 子どもの村 JAPAN / 日本クリニックラウン協会 / ビーンズふくしま / CAPセンター・JAPAN / 日本IDDMネットワーク / チャイルドラインあいち / 難病の子どもとその家族へ夢を / みらいの森 / ぴいかあぶら / CPAO / チャイボラ / せんだいこども食堂 / PIECES **【子ども若者】** ブリッジフォースマイル / 子どもセンター「パオ」 / 子どもシェルターモモ / 子どもセンターぽると / フェアスタートサポート / ピアサポートネットしづや / パノラマ / さいたまユースサポートネット / 未来図書館 **【まちづくり・地域活性化】** まちぽっと / 公害地域再生センター (あおぞら財団) / Hands On Tokyo / ReRoots / 地域・教育魅力化プラットフォーム / えんがお **【地域活性化】** あおもりNPOサポートセンター **【文化芸術】** 芸術と遊び創造協会 / 芸術家と子どもたち / エイブル・アート・ジャパン / 日本芸能実演家団体協議会 / ゲーム保存協会 / もうひとつの美術館 / みんなのことば / IMADATE ART FIELD **【フリースクール】** 楠の木学園 / コクレオの森 / 越谷らるご **【フードバンク】** フードバンク関西 / フードバンク山梨 **【ひきこもり】** 楽の会リーラ **【発達障がい】** 発達わんぱく会 **【LGBT】** MarriageForAllJapan-結婚の自由をすべての人に **【人権】** アムネスティ・インターナショナル日本 **【ホームレス支援】** ビッグイシュー基金 **【貧困問題】** hareruya **【在日外国人】** 神戸定住外国人支援センター (KFC) / 多言語社会リソースかながわ / カパティラン / RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク) **【自殺防止】** 国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター **【子育て】** 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA) / 子どもの虐待防止センター / アトピッ子地球の子ネットワーク / アレルギー支援ネットワーク / フローレンス / チャイルド・リソース・センター / 児童虐待防止協会 / リトルワンズ / チャリティーサンタ **【教育】** 青少年育成支援フォーラム / ESD-J / リヴォルヴ学校教育研究所 / チャンス・フォー・チルドレン / TeachForJapan / 日本教育再興連盟 **【学習支援】** キッズドア / Learning for All / いるか **【科学】** 高木仁三郎市民科学基金 **【がん】** 5years / がん研究会 / エンパワリング プレストキャンサー

サイトをリニューアルしました

サイトデザインの刷新、使い勝手の向上、セキュリティの強化を目的に、グローシップ・パートナーズ株式会社によるプロボノ支援を得ることで、Give Oneサイトのリニューアルが実現しました。スマートフォン対応、寄付プロジェクトごとのSDGsテーマ設定、登録団体向けの管理画面の機能強化など、大幅なバージョンアップが実現しました。



協働企業のコメント

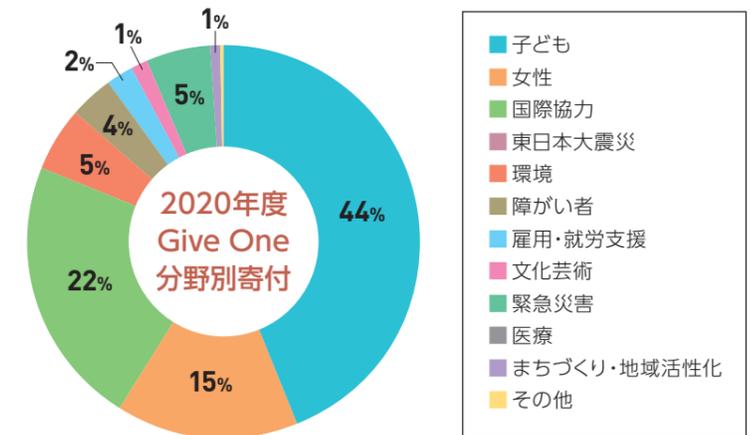
グローシップ・パートナーズ株式会社
代表取締役 松井 晴彦様



少しでも社会貢献したい! という思いがあっても、日常に忙殺されて実行できていないのが多くの方の現実だと思います。Give Oneは、その思いを形にしてくれるのだと思いました。そのコンセプト、審査体制に感銘を受け、自身も社会貢献活動をと考え、サイト更改に協力しました。

「子ども分野」と「国際協力」に多くのご寄付をいただきました

2020年度のGive Oneは、ご寄付の4割強が子ども分野に、約2割が国際協力分野に充てられました。子ども分野では貧困家庭の子どもに学習支援を行う「Learning for All」などに、国際協力分野ではアジア・太平洋のチェンジメーカーを支援する「アース・カンパニー」などに多くのご寄付をいただきました。



基金からGive One登録団体に寄付(助成)しました

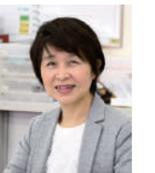
今、Give Oneに登録されている団体は全て、新たな基準で寄付適格性があるとして認証されています(▶P.11「団体の認証システム」)。すでに審査委員会による審査を通過しているため、素早く、関心のある分野の信頼できる団体に寄付(助成)ができます。

基金からのGive One登録団体への2020年度の寄付(助成)

匿名基金A	4,500万円
ビッグブリッジ基金	17万円
高山弘子様基金	700万円
MHD緊急災害支援基金	100万円
謝縁教育基金	100万円
株主優待品の寄付	航空券、食品、消耗品等

登録団体のコメント

認定NPO法人フードバンク山梨
理事長 米山 けい子様



コロナ禍で、特にフードバンクの支援を受けている方々にとっては、経済的に苦しい生活を余儀なくされました。私たちもそのような状況の方々への支援を全力で行って来ました。充実した活動ができましたのも、ひとえにご寄付で応援して下さるみなさまの想いと行動のおかげです。心から感謝申し上げます。

Special Thanks (敬称略)

賛助会員および財団運営基金へのご寄付

- 株式会社エニシフルコンサルティング
- 熊木 由次
- 株式会社大和証券グループ本社
- 山崎 富一
- 株式会社リクルート
- 他 匿名3件

あい基金へのご寄付

- 藤井 幸子
- 2名のGive Oneを通じた寄付者の方
- Brand Pledgeを通じた寄付者の方

I.H.K基金へのご寄付

匿名1件

Arts United Fundへのご寄付

- | | | |
|------------------------------|------------|----------------|
| ●のべ461名のGoodMorningを通じた寄付者の方 | ●佐藤まいみ | ●新生フィナンシャル株式会社 |
| ●株式会社アプラスフィナンシャル | ●昭和リース株式会社 | ●ソニー株式会社 |
| ●落合 千華 | ●株式会社新生銀行 | 他 匿名1件 |

遺贈によるM基金(仮称)へのご寄付

匿名1件

移民・難民支援基金へのご寄付

- 角 知行

魚沼の未来基金へのご寄付

- | | | | |
|------------------|----------------------|--------------|--------------|
| ●阿部 信子 | ●岡村 真 | ●桑原 正 | ●角谷 正雄 |
| ●阿部 春子 | ●岡村 正樹 | ●釧持 徳一 | ●関 久良 |
| ●阿部 保幸 | ●岡村 慶寛 | ●小出 健治 | ●関 正晴 |
| ●井口 幸 | ●小川 一夫 | ●小出郷信栄会 | ●関 幸雄 |
| ●井口 伸夫 | ●奥村 邦夫 | ●有限会社小出自動車工業 | ●関口 辰明 |
| ●井口 晴一 | ●小倉 敏夫 | ●株式会社光成電気 | ●関矢 幸子 |
| ●井口 洋一 | ●小野澤 一成 | ●腰越 美津子 | ●瀬下 賢一 |
| ●池田 健一 | ●小野塚 建一 | ●株式会社古城館 | ●藺部 昌代 |
| ●飯酒盃 敏 | ●小野塚 清一 | ●小林 克行 | ●有限会社ソワン |
| ●石坂 幸子 | ●小野塚 徹 | ●有限会社小林電設 | ●有限会社タイガーオート |
| ●石沢 久和 | ●笠原 貴美男 | ●阪西 由紀夫 | ●大洋設備工業有限公司 |
| ●有限会社石田電機商会 | ●風間 健 | ●櫻井 一枝 | ●有限会社大栄食品 |
| ●石原 友三郎 | ●加藤 丈夫 | ●桜井 文敏 | ●有限会社大地 |
| ●五日町信栄会 | ●上村 一也 | ●司法書士櫻井三男事務所 | ●高橋 郁夫 |
| ●今井 満 | ●上村建設工業株式会社 | ●櫻井 芳信 | ●高橋 イツ |
| ●今井 良江 | ●上村 迅 | ●桜沢 英夫 | ●高橋 和彦 |
| ●上野 元一 | ●上村 亨 | ●佐谷 幸夫 | ●高橋 一巳 |
| ●株式会社魚沼さく泉 | ●上村 雛子 | ●佐藤 温子 | ●高橋 清隆 |
| ●株式会社魚沼中央トランスポート | ●上村 弘之 | ●佐藤 広二 | ●高橋 ハツイ |
| ●内山 浩 | ●上村 誉 | ●佐藤 久也 | ●高橋 はるみ |
| ●江口 幸司 | ●株式会社神湯温泉倶楽部 | ●佐藤 文音 | ●高橋 久子 |
| ●株式会社エフエム雪国 | ●有限会社甘泉堂 | ●佐藤 正雄 | ●高橋 ひろみ |
| ●有限会社エフ商会 | ●岸野 悦雄 | ●塩川 恵美子 | ●高橋 守 |
| ●遠藤 憲子 | ●北村 敦子 | ●塩沢信用組合 | ●高橋 真由美 |
| ●遠藤 実 | ●北村 富男 | ●塩沢生コン株式会社 | ●株式会社高橋工務所 |
| ●大桃 久子 | ●杵淵 稷 | ●志賀 達之助 | ●高野 正昭 |
| ●大島 知美 | ●木村 盛 | ●島村 文男 | ●高野 好雄 |
| ●太田 重男 | ●桐生 厚義 | ●清水 道夫 | ●高原 幸夫 |
| ●大平 春子 | ●桐生 薫 | ●清水 ヨシ | ●滝沢 正明 |
| ●株式会社大平きのご研究所 | ●桐生 好雄 | ●株式会社自遊人 | ●株式会社滝沢技研 |
| ●大竹 一夫 | ●学校法人金城学園 | ●株式会社庄治郎商会 | ●籠田 淑子 |
| ●大塚 秀夫 | 幼保連携型認定こども園金城幼稚園・保育園 | ●鈴木 美穂 | ●株式会社タキノガワ |
| ●大塚 与四次 | ●栗田 麻木 | ●鈴木 省一 | ●武淵 和昭 |
| ●有限会社大塚金物店 | ●農事組合法人グリーンアース津南 | ●鈴木 永男 | ●橘 美千子 |
| ●岡村 聡 | ●桑原 茂 | ●須藤 昇二 | ●館野 彰男 |

- 田村 正典
- 田村 正道
- 田んぼのなかのお菓子屋さん 貝瀬 尊子
- 月岡 奈津子
- 有限会社津南印刷商事
- 常山 幸男
- 常山 能人
- 株式会社天翔
- 富所 清治
- 富永 修
- 外谷 久夫
- 外谷 光雄
- 遁所 博一
- 中沢 国雄
- 中澤 幸子
- 中澤 由美
- 中澤 好夫
- 中嶋 京子
- 中嶋 知一
- 中嶋 成夫
- 中島 仁
- 中島 満男
- 中原 愛子
- 中原 優敏
- ナカヤマモーターズ株式会社
- 長屋 昇
- 新潟産業株式会社
- 新潟砂利建設工業株式会社
- 株式会社新潟車輻サービスセンター
- 新潟商事開発株式会社
- 有限会社新潟大成
- 根津 伸一
- 株式会社バイオマスレジン南魚沼
- 株式会社HEIDI
- 羽賀 謙祐
- 株式会社はしもと
- 羽吹 宏幸
- 株式会社羽吹組
- 林 和彦
- 林 和宏
- 林 幸次
- 林 茂一
- 林 新一郎
- 林 澄子
- 林 高志
- 林 秀夫
- 樋口 進
- 樋口 明
- 平賀 孝雄
- 笛木 宏

- 福原 ヒロ子
- 福原 政文
- 藤ノ木 靖子
- 有限会社フジミヤ
- 富達観光株式会社
- 二渡 英勝
- 株式会社保健堂
- 星 伸哉
- 星 秀幸
- 星 美紀子
- 星野 富夫
- 本田 節子
- 松田 孝
- 株式会社丸川屋工務店
- 有限会社丸高
- 合資会社みうらや
- 水澤 行雄
- 三友 泰彦
- 有限会社ミナミエステート
- 宮田 諒太
- 税理士法人ミライテラス
- 村山 桂子
- 森下 八千代
- 八木 健二
- 山岸 君江
- 山岸 政司
- 山岸 麗好
- 山崎 四郎
- 山田 廣正
- 山田 正春
- 山田 学
- 山田 泰
- 山田 幸男
- 山田 芳男
- 山邊 裕章
- 山本 宏幸
- 有限会社ユース・ファッションサポート
- 農事組合法人雪国きのご組合
- 株式会社吉田建設
- 吉野 和子
- 吉原 義浩
- 米山 幸子
- 株式会社ワカバ
- 涌井 好一
- 渡辺 一樹
- 渡辺 みさ子
- 割田 賢一
- 他 匿名17件

エイブルアート年賀状基金へのご寄付

- 株式会社プリプレス・センター

AED・地域あんしん基金へのご寄付

- ジョーンズ ラング ラサール株式会社

MHD緊急災害支援基金へのご寄付

- MHD モエ ヘネシー デアジオ株式会社

株主優待活用プロジェクト基金へのご寄付

- 株式会社きらぼし銀行
 - ココヨ株式会社
- 他 匿名3件

Give One登録団体を指定したご寄付

- のべ6,544名のオンライン寄付者の方
- 他 匿名1件

子ども支援団体等緊急支援基金へのご寄付

- のべ166名のGive Oneを通じた寄付者の方
 - SOMPOちきゅう倶楽部
 - 株式会社大和証券グループ本社
- 他 匿名1件

ゴールドマン・サックス基金へのご寄付

- ゴールドマン・サックス証券株式会社

ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金へのご寄付

- ゴールドマン・サックス証券株式会社
- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

コロナ寄付プロジェクトへのご寄付

- のべ86,188名のYahoo!募金を通じた寄付者の方
 - のべ2,175名のTRUST BANKを通じた寄付者の方
 - 株式会社イデイ
 - College Women's Association of Japan
 - ギークス株式会社
 - 気象庁生活協同組合
 - 株式会社CyberZ
 - 株式会社ジャックス
 - 世界平和経済人会議ひろしま東京セッション運営委員会
 - 株式会社ZOZO
 - ソルダ有限会社
 - ティーキャピタルパートナーズ株式会社
 - 有限会社マイティ・クラウン・エンターテインメント
- 他 匿名10件

J-coin基金へのご寄付

- J-Coin Pay[ぼちっと募金]を通じた寄付者の方
 - 株式会社愛媛銀行
 - 株式会社大垣共立銀行
 - 株式会社きらぼし銀行
 - 株式会社三十三フィナンシャルグループ(株式会社第三銀行、株式会社三重銀行)
 - 株式会社新生銀行
 - 株式会社千葉興業銀行
 - 株式会社富山銀行
 - 株式会社富山第一銀行
 - 株式会社長野銀行
 - 株式会社名古屋銀行
 - 株式会社肥後銀行
 - 株式会社北洋銀行
 - 株式会社みずほフィナンシャルグループ
- 他 匿名1件

女性リーダー支援基金へのご寄付

- 石川 清子

大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金へのご寄付

- 株式会社大和証券グループ本社
- 株式会社大和ネクスト銀行

大和証券グループ サンタチャリティプログラムへのご寄付

匿名1,377件

大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金へのご寄付

- 郡山ロータリークラブ
- 株式会社大和証券グループ本社
- 株式会社大和ネクスト銀行

高田弘子難民教育支援基金へのご寄付

- 高田 弘子

手間いらず観光応援基金へのご寄付

- 池田 一男
- 木内 健二
- 洲崎 智広
- 鈴木 一夫
- 長又 義郎
- 山本 祐紀
- 渡邊 哲男

東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金へのご寄付

- 株式会社東京海上日動キャリアサービス

東北3.11基金へのご寄付

- 認定NPO法人ジャパンカインドネス協会

匿名基金Aへのご寄付

匿名1件

Dress farm 2020基金へのご寄付

- のべ2,365名のGive Oneを通じた寄付者の方
- 他 匿名4件

NOBUKO基金へのご寄付

- 河合 昭

舞台芸術を未来に繋ぐ基金 =Mirai Performing Arts Fundへのご寄付

- のべ3,884名のMortion Galleryを通じた寄付者の方
- 石井 一孝
- 岡 幸二郎
- conSept合同会社
- 杉本事務所
- Hearts for Artists

Music Cross Aid ライブエンタメ従事者支援基金へのご寄付

- 1,398名のYahoo! 募金を通じた寄付者の方
- 1,396名のGive Oneを通じた寄付者の方
- RKM FAMILY
- 阿部 知行
- 株式会社AWA
- 株式会社イドエンターテイメント
- 株式会社ウエス
- 上原潤ファン有志
- エシカル・スピリッツ株式会社
- 株式会社エムアップホールディングス
- 一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN

- 音市音座(サンデーフォーク)
- CARDERA SONIC
- カワサキ マサル
- 氣志團万博
- 久保田 通子
- 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
- 株式会社ジャパンミュージックデータ
- スポティファイジャパン株式会社
- 大東 優志
- 田中 潤(гентウキ)
- 株式会社電通
- 株式会社電通キャスティングアンドエンタテインメント
- 株式会社電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
- 徳永英明オフィシャルファンクラブ(トニーズクラブ)
- 2021年3月7日に配信された桑田佳祐「静かな春の戯れ ～Live in Blue Note Tokyo～」

- 一般社団法人日本音楽事業者協会
 - 一般社団法人日本音楽出版社協会
 - 一般社団法人日本音楽制作者連盟
 - 日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合
 - 日本たばこ産業株式会社
 - 一般社団法人日本レコード協会
 - 株式会社ハイウェイスター
 - Bytedance株式会社
 - 株式会社阪神コンテンツリンク
 - 株式会社ハンズオン・エンタテインメント
 - 株式会社バンダイナムコアーツ
 - 株式会社ヒップランドミュージックコーポレーション
 - 株式会社フジパシフィックミュージック
 - フジロック・フェスティバル事務局
 - 株式会社フリースター
 - 本橋 文博
 - 山下 蝶子
 - 株式会社U-NEXT
 - 株式会社ロックダムアーティスト
- 他 匿名24件

未来につなぐふるさと基金へのご寄付

- キャノンシステムアンドサポート株式会社
- キャノンマーケティングジャパン株式会社

ゆーじチャレンジ基金へのご寄付

- 伊東 裕司

ゆーじ基金ひとり親支援プロジェクトへのご寄付

- 伊東 裕司

助成・顕彰事業選考委員

- 赤石 千衣子 (NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長)
- 明石 勝也 (聖マリアンナ医科大学理事)
- 秋葉 武 (立命館大学産業社会学部教授)
- 浅野 幸子 (早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員)
- 厚子・東光・フィッシュ (フィッシュ・ファミリー財団 共同創設者・理事)
- 市瀬 敬子 (NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会理事長)
- 伊藤 隆 (世界文化フォーラムアライアンス日本幹事)
- 伊藤 美歩 (アーツブリッジ代表)
- 井上 由起子 (日本社会事業大学専門職大学院教授)
- 今村 久美 (認定NPO法人カタリバ代表理事、中央教育審議会委員)
- 鷓尾 雅隆 (認定NPO法人日本ファンドレイジング協会代表理事)
- 臼井 清 (合同会社志事創業社代表)

- 内田 幹夫 (魚沼市長)
- 江口 八千代 (NPO法人ファミリーハウス理事長)
- 岡部 信彦 (川崎市健康安全研究所所長)
- 小川 潔 (東京学芸大学名誉教授)
- 小河 光治 (公益財団法人あすのば代表理事)
- 奥山 千鶴子 (認定NPO法人びーのびーの理事長)
- 小野澤 一成 (塩沢信用組合理事長)
- 小野田 峻 (小野田高砂法律事務所・代表 弁護士)
- 小野田 全宏 (静岡県ボランティア協会市民活動センター理事長)
- 片山 正夫 (公益財団法人セゾン文化財団理事長)
- 金井 文幸 (一般社団法人日本音楽制作者連盟常務理事)
- 鴨崎 貴泰 (NPO法人日本ファンドレイジング協会常務理事)
- 河合 将生 (office musubime代表)

- 川那部 留理子 (株式会社大和証券グループ本社経営企画部SDGs推進室長)
- 菊池 尚人 (慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任教授)
- 岸本 幸子 (弊財団代表理事・専務理事)
- 工藤 啓 (認定NPO法人育て上げネット理事長、金沢工業大学客員教授)
- 國井 修 (医師、グローバルファンド (世界エイズ・結核・マラリア対策基金) 戦略・投資・効果局長)

- 小園 弥生 (横浜市男女共同参画センター横浜南管理事業課長)
- 粉川 一郎 (武蔵大学社会学部メディア社会学科教授、同大学グローバル・データサイエンスコース主任)

- 柴沼 俊一 (株式会社シグマクシス常務執行役員)
- 渋谷 健司 (医師、WHO事務局長上級顧問、英国キングス・カレッジ・ロンドン教授)
- 白井 智子 (NPO法人新公益連盟代表理事)
- 杉本 大輔 (全国難民弁護士連絡会議事務局)
- 鈴木 江理子 (国士舘大学文学部教授)
- 鷹野 秀征 (一般社団法人新興事業創出機構 (JEBDA) 理事長、ソーシャルウィンドウ株式会社代表取締役社長)

専門家／協力機関

- いずみ会計事務所
- 一般社団法人ギビングフォワード
- グローシップパートナーズ株式会社
- けやき野司法書士法人
- 株式会社コトヴィア
- NPO法人コムラボ
- 合同会社志事創業社
- 公益財団法人助成財団センター
- 一般社団法人全国レガシーギフト協会
- 株式会社トラストバンク
- 弁護士法人中村綜合法律事務所
- NPO法人日本エコツアーリズムツアー
- 公益社団法人日本自然保護協会
- 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会

※ご所属・お役職は委嘱当時のものです

- 高橋 紘士 (東京通信大学教授、一般財団法人高齢者住宅財団顧問)
- 滝口 健 (世田谷パブリックシアター、東京藝術大学非常勤講師)
- ダニエル・ペレル (ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク社長)
- 田村 太郎 (一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)
- 中鉢 博之 (NPO法人ビーンズふくしま理事)
- 寺尾 仁 (新潟大学工学部建設学科准教授)
- 長井 延裕 (一般社団法人コンサートプロモーターズ協会常務理事)
- 永倉 禮司 (福島大学学長参与)
- 中村 陽一 (立教大学21世紀社会デザイン研究科教授)
- 西田 治子 (一般社団法人Women Help Women代表理事、オフィス・フロネシス代表)
- 萩原 なつ子 (立教大学社会学部・同大学院21世紀社会デザイン研究科教授、認定NPO法人日本NPOセンター代表理事)

- 林 茂男 (南魚沼市長)
- 久野 敦子 (公益財団法人セゾン文化財団常務理事)
- 日誌 一幸 (静岡大学人文社会科学部長)
- 藤沢 烈 (一般社団法人RCF代表理事、NPO法人新公益連盟理事・事務局長)
- 古瀬 繁範 (NPO法人地球と未来の環境基金理事長・事務局長)
- 紅邑 晶子 (一般社団法人SDGsとうほく代表理事)
- 前田 幸博 (キャノンマーケティングジャパン株式会社CSR本部CSR推進部)
- 槇 ひさ恵 (NPO法人ニンジン常務理事)
- 三浦 文夫 (関西大学社会学部社会学科メディア専攻教授)
- 南 壮一郎 (ビジョナル株式会社代表取締役社長)
- 源 由理子 (明治大学ガバンス研究科研究科長・専任教授)
- 宮島 俊彦 (岡山大学客員教授、日本業連合会理事長)
- 三好 紀子 (公益財団法人日本自然保護協会自然のちから推進部)
- 村上 千里 (公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長)

- 藻谷 浩介 (株式会社日本総合研究所主席研究員)
- 森本 真也子 (NPO法人子どもと文化全国フォーラム代表理事、NPO法人子ども文化地域コーディネーター協会専務理事)
- 山岡 義典 (法政大学名誉教授、助成財団センター理事長)
- 山北 洋二 (あしなが育英会顧問)
- 山崎 富一 (NPO法人笑顔せたがや理事・事務局長)
- 山田 泰久 (一般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事)
- 由良 聡 (弊財団理事)
- 吉岡 マコ (NPO法人マドレボニータ代表)
- 吉田 光太郎 (株式会社大和証券グループ本社経営企画部長)
- 米田 佐知子 (子どもの未来サポートオフィス代表)
- 龍治 玲奈 (日本マイクロソフト株式会社法務政策企画統括本部渉外・社会貢献課長)
- 我妻 充史 (キャノンマーケティングジャパン株式会社企画本部サステナビリティ推進部長)
- 渡辺 元 (公益財団法人助成財団センター プログラム・ディレクター)

一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

- 一般社団法人ふくしま連携復興センター
- ほがらか信託株式会社
- モジョコンサルティング合同会社
- ヤフー株式会社
- ランドマーク税理士法人
- 株式会社ワンディグリーズ
- 一般社団法人Bridge for Fukushima
- NPO法人CRファクトリー
- 認定NPO法人JUON (樹恩) NETWORK
- 合同会社MKRマネージメント
- 株式会社STYZ
- 一般社団法人Women Help Women

組織体制

理事	久住 剛 ……公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・理事長			
	岸本 幸子 ……公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・専務理事			
	角方 正幸 ……株式会社リアセック キャリア総合研究所 所長			
	片山 正夫 ……公益財団法人セゾン文化財団 理事長			
	谷本 寛治 ……早稲田大学商学大学院商学部 教授			
	西田 治子 ……一般社団法人Women Help Women 代表理事、オフィス・フロネシス 代表			
	水谷 衣里 ……一般財団法人世田谷コミュニティ財団 代表理事、株式会社風とつばさ 代表取締役			
由良 聡 ……公益財団法人パブリックリソース財団 シニアフェロー				
評議員	秋葉 武 ……立命館大学産業社会学部 教授			
	跡田 直澄 ……京都先端科学大学経済経営学部 特任教授			
	太田 達男 ……公益財団法人公益法人協会 会長			
	岡野 貞彦 ……公益社団法人経済同友会 常務理事			
	勝又 英子 ……公益財団法人日本国際交流センター(JCIE) 専務理事・事務局長			
	鷹野 秀征 ……ソーシャルウィンドウ株式会社 代表取締役、一般社団法人新興事業創出機構(JEBDA) 理事長			
	永久 寿夫 ……株式会社PHP研究所 取締役			
	中村 陽一 ……立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 教授			
	前田 和敬 ……公益財団法人日本生産性本部 理事長			
	山崎 富一 ……NPO法人笑顔せたがや 理事長			
	湯瀬 秀行 ……公益財団法人助成財団センター 事務局長代理			
	雨森 孝悦 ……日本福祉大学福祉経営学部 招聘教授 A			
本郷 順子 ……本郷順子税理士事務所 代表				
顧問	播磨 靖夫 ……一般財団法人たんぽぽの家 理事長			
	水口 剛 ……高崎経済大学 学長			
スタッフ 18名	田口 由紀絵 ……事務局長	安倍 瑞枝 ……プログラムオフィサー		
	黒木 明日丘 ……チーフプログラムオフィサー	森内 大樹 ……プログラムオフィサー		
	渡辺 裕 ……プログラムオフィサー	由良 聡 ……法務・コンプライアンス担当		
	五十嵐 航 ……プログラムオフィサー	関 和実 ……総務担当		
	松本 海南 ……プログラムオフィサー	蕪木 玲子 ……経理担当		
	渡邊 由佳 ……プログラムオフィサー	小林 孝枝 ……経理担当		
	嶋原 佳奈 ……プログラムオフィサー	田中 徹 ……総務担当		
	鎌田 淳 ……プログラムオフィサー	谷藤 優 ……総務担当		
	山口 薫 ……プログラムオフィサー	小澤 千津子 ……総務担当		
	伊藤 美歩	臼井 清	河合 将生	佐野 直哉
今給黎 辰郎	河合 哲朗	佐藤 宏美	堤 大介	山崎 庸貴

決算報告

正味財産増減計算書【2020年4月1日から 2021年3月31日まで】

(単位:千円)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	
一般正味財産増減の部	1. 経常収益	10,295	25,600	12,086	18,420	23,389
	事業収益	10,295	25,600	12,086	18,420	23,389
	寄付金収益	1,377,474	284,806	183,869	124,848	98,839
	受取助成金	94,648	6,433	0	0	200
	受取賛助会費	1,050	590	970	760	740
	その他収益	3,692	5	7	30	286
	合計	1,487,161	317,435	196,933	144,059	123,454
	2. 経常費用	1,482,003	310,298	192,314	147,120	117,949
	事業費	1,482,003	310,298	192,314	147,120	117,949
	(うち支払助成金)	(1,351,910)	(219,735)	(129,894)	(73,951)	(65,082)
(うち物品寄贈)	(3,478)	(5,533)	(1,577)	(1,402)	(3,552)	
管理費	6,555	5,299	4,673	4,172	5,337	
合計	1,488,558	315,597	196,988	151,292	123,287	
当期経常増減額	▲ 1,396	1,837	▲ 55	▲ 7,233	167	
当期経常外増減額	2,027	▲ 1,857	129	0	▲ 23	
当期一般正味財産増減額	630	▲ 19	73	▲ 7,233	143	
一般正味財産期首残高	260	280	206	7,439	7,295	
一般正味財産期末残高	891	260	280	206	7,439	
指定正味財産増減の部	受取指定寄付金	1,962,132	718,291	160,104	133,374	58,246
	(うち受取寄付物品)	(4,101)	(5,948)	(744)	(0)	(0)
	(うち運用型基金有価証券への振替額)	(0)	(▲ 234,913)	(0)	(0)	(0)
	受取指定助成金	604,984	122,521	0	0	▲ 1,000
	受贈土地建物	0	10,105	0	0	0
	(うち運用型基金有価証券への振替額)	(0)	(▲ 7,893)	(0)	(0)	(0)
	運用型基金有価証券等	258,698	242,807	0	0	0
	一般正味財産への振替額	▲ 1,479,010	▲ 292,913	▲ 183,869	▲ 124,848	▲ 98,839
	特定資産(運用型基金有価証券等)の振替額	▲ 235,126	0	0	0	0
	特定資産評価損益等	47,978	▲ 14,462	0	0	0
当期指定正味財産増減額	1,159,655	543,541	▲ 23,765	8,526	▲ 41,592	
指定正味財産期首残高	815,548	272,006	295,772	287,245	328,838	
指定正味財産期末残高	1,975,204	815,548	272,006	295,772	287,245	
正味財産期末残高	1,976,095	815,809	272,286	295,978	294,685	

貸借対照表【2021年3月31日現在】

(単位:千円)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	
資産の部	1. 流動資産	5,964	2,643	2,325	4,596	9,351
	現金預金	3,810	975	1,772	495	8,418
	未収金	195	1,000	119	3,468	347
	前払費用	455	637	433	632	585
	その他流動資産	1,502	30	0	0	0
合計	5,964	2,643	2,325	4,596	9,351	
2. 固定資産	基本財産	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	特定資産	1,972,204	812,548	270,224	296,348	287,260
	その他固定資産	824	921	320	320	320
合計	1,976,029	816,469	273,544	299,668	290,580	
資産合計	1,981,993	819,113	275,870	304,264	299,932	
負債の部	1. 流動負債	5,898	3,304	3,583	8,285	5,247
	短期借入金	0	0	0	2,300	0
	未払金	4,352	0	0	0	0
	未払費用	11	2,666	2,864	5,148	3,823
	前受収益	0	0	0	0	1,038
預り金	1,534	638	719	837	385	
合計	5,898	3,304	3,583	8,285	5,247	
負債合計	5,898	3,304	3,583	8,285	5,247	
正味財産の部	1. 指定正味財産	1,975,204	815,548	272,007	295,772	287,245
	指定寄付金基金	839,100	471,115	272,007	295,772	287,245
	運用型基金	509,680	226,575	0	0	0
	休眠預金助成金	626,423	116,087	0	0	0
	その他特定資産	0	1,770	0	0	0
指定正味財産合計	1,975,204	815,548	272,007	295,772	287,245	
(うち基本財産への充当額)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	
合計	891	260	280	206	7,439	
2. 一般正味財産	891	260	280	206	7,439	
正味財産合計	1,976,095	815,809	272,286	295,978	294,685	
負債及び正味財産合計	1,981,993	819,113	275,870	304,264	299,932	